



TRAKTOR SCRATCH PRO 2

SOFTWARE AND TIMECODE KIT

セットアップガイド



この説明書に含まれる情報は、予期せぬ変更を含み、Native Instruments GmbH の側で責任を代理するものではありません。この説明書によって記述されるソフトウェアはライセンス同意を必要とし、他の媒介に複製してはなりません。Native Instruments GmbH が事前に書面で許可しない限り、どのような目的においても、この出版物のいかなる部分も複製、複写、またはその他の方法での伝達や記録することは許されません。全ての製品・会社名は各所持者の登録商標です。加えて、これを読む人は、このソフトを正規に購入したものであるとします。お客様のおかげで私達はより良いツールを製作していくことが可能になるので、ここに謝辞を惜しむものではありません。

“Native Instruments” , “NI” and associated logos are (registered) trademarks of Native Instruments GmbH.

Mac, Mac OS, GarageBand, Logic, iTunes and iPod are registered trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Windows, Windows Vista and DirectSound are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

VST and Cubase are registered trademarks of Steinberg Media Technologies GmbH. ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

RTAS and Pro Tools are registered trademarks of Avid Technology, Inc., or its subsidiaries or divisions.

All other trade marks are the property of their respective owners and use of them does not imply any affiliation with or endorsement by them.

著作・校正: Native Instruments GmbH

マニュアル翻訳: Akira Inagawa

ソフトウェアバージョン: 2.5.0 (07/2012)

製品の向上とバグ報告に関ったベータテスト参加者に特別な感謝をささげます。

Germany
Native Instruments GmbH
Schlesische Str. 29-30
D-10997 Berlin
Germany
www.native-instruments.de

USA
Native Instruments North America, Inc.
6725 Sunset Boulevard
5th Floor
Los Angeles, CA 90028
USA
www.native-instruments.com



© Native Instruments GmbH, 2012. 無断複写・転載を禁じます。

目次

1	ようこそ!	8
1.1	このセットアップガイドについて	8
1.2	資料の注釈について	8
1.3	パッケージ内容	9
1.4	ハードウェア動作環境	9
1.5	セットアップ概要	10
2	セットアップ A: オーディオインターフェイス - DJ ミキサー - ターンテーブル	13
2.1	DJ ミキサーにオーディオインターフェイスを接続する。	14
2.2	DJ ミキサーにヘッドフォンを接続する	16
2.3	アンプシステムと DJ ミキサーを接続する	17
2.4	ターンテーブルとオーディオインターフェイスを接続する	18
2.4.1	左ターンテーブルの接続 (L)	19
2.4.2	右ターンテーブルの接続 (R)	20
2.5	CD プレイヤーとオーディオインターフェイスを接続する	21
2.5.1	左 CD プレイヤーの接続 (L)	21
2.5.2	右 CD プレイヤーの接続 (R)	22
3	セットアップ B: 認定ミキサー - ターンテーブル	24
3.1	認定ミキサーにヘッドフォンを接続する	25
3.2	アンプシステムと認定ミキサーを接続する	25
3.3	認定ミキサーにターンテーブルを接続する	26
3.3.1	左ターンテーブルの接続 (L)	27
3.3.2	右ターンテーブルの接続 (R)	27
3.4	CD プレイヤーにターンテーブルを接続する	29
3.4.1	左 CD プレイヤーの接続 (L)	29
3.4.2	右 CD プレイヤーの接続 (R)	29
4	セットアップ C: TRAKTOR KONTROL S4 - ターンテーブル	31
4.1	ヘッドフォンの接続	32
4.2	アンプシステムへの接続	33
4.3	ターンテーブルの接続	33

4.3.1	左ターンテーブルの接続 (L)	34
4.3.2	右ターンテーブルの接続 (R)	35
4.4	CD プレイヤーの接続	37
4.4.1	左 CD プレイヤーの接続 (L)	38
4.4.2	右 CD プレイヤーの接続 (R)	39
5	ソフトウェアインストール	41
5.1	Mac OS X へのインストール	41
5.1.1	インストールプログラムを確認し、起動する	41
5.1.2	インストールするコンポーネントの選択	41
5.1.3	パスワードの入力	43
5.1.4	インストール作業の終了	44
5.2	Windows へのインストール	45
5.2.1	インストールプログラムを確認し、起動する	46
5.2.2	インストールする各フィーチャーの選択	46
5.2.3	アプリケーションインストールパスの確認	47
5.2.4	ハードウェアドライバの選択	48
5.2.5	ソフトウェアインストール作業の完了	48
6	製品のアクティベーション	50
6.1	オンライン製品起動	50
6.1.1	サービスセンターの起動	50
6.1.2	ユーザーアカウントへのログイン	51
6.1.3	製品を起動する	52
6.1.4	オンライン起動の終了	53
6.2	製品のアップデート	54
6.2.1	アップデートの選択	54
6.2.2	アップデートのダウンロード	55
6.2.3	ダウンロードフォルダーを開く	56
6.2.4	アップデートのインストール	56
6.3	製品のオフライン起動	57
6.3.1	オフライン起動の開始	57
6.3.2	起動リクエストファイルの作成	58

6.3.3	シリアルナンバーの入力	59
6.3.4	起動リクエストファイルを転送します。	60
6.3.5	起動リターンファイルを展開します。	61
6.3.6	オフライン起動の終了	62
7	設定の仕上げに	63
7.1	コンピュータにハードウェアを接続する	63
7.2	コントロールヴァイナルを設置する、コントロール CD を挿入する	63
7.3	機器の電源を入れる	63
7.4	TRAKTOR ソフトウェアの起動	64
7.5	セットアップウィザードを使用して TRAKTOR SCRATCH PRO システムを設定する	65
7.5.1	ハードウェアの選択	65
7.5.2	デッキセットアップの選択	66
7.5.3	セットアップのチェック	67
7.6	TRAKTOR のデッキを有効にする	69
7.7	タイムコードコントロール用に TRAKTOR をキャリブレートする	73
8	初期 TRAKTOR SCRATCH PRO / DUO システムのアップグレード	75
8.1	バックアップ	75
8.2	ソフトウェアインストール	75
8.3	データのインポート	75
9	各資料	77
9.1	PDF マニュアル	77
9.2	ビデオ・チュートリアル	77
10	サポート	78
10.1	ナレッジベース / リードミー / オンラインサポート	78
10.2	フォーラム	78
10.3	アップデート	78
11	トラブルシューティングと FAQ	79
11.1	アップデートインストーラーがインストールフォルダを見つけることができない	79
11.2	ユーザーアカウント管理とインターネットセキュリティー	79

11.3	トラック再生中にクリックや、オーディオドロップアウトが生じる	79
11.4	更なるトラブルシューティングの為の資料	79

1 ようこそ!

TRAKTOR SCRATCH PRO 2 SOFTWARE & TIMECODE KIT をお買い上げいただきありがとうございます。
この製品は TRAKTOR ソフトウェアを TRAKTOR SCRATCH PRO 2 バージョンにアップグレードするためのものです。更にこのキットに含まれるタイムコードメディアで、ターンテーブル/CD プレイヤーによる TRAKTOR コントロールが可能となり、DJ セットアップを TRAKTOR SCRATCH PRO システムとして使用することができるようになります。

1.1 このセットアップガイドについて

この資料では TRAKTOR SCRATCH PRO 2 SOFTWARE & TIMECODE KIT を使用する際の TRAKTOR SCRATCH PRO 2 と各 NI オーディオインターフェイス、NI コントローラー、TRAKTOR SCRATCH 専用ミキサーの設定方法についてそれぞれ解説しています。この資料を読むことで、お客様が使用しているハードウェア環境に合わせて TRAKTOR SCRATCH PRO 2 を設定することが可能となります。

1.2 資料の注釈について

このセクションでは、本資料で使用しているテキストと表記内容について解説します。本資料では、特定表記専用フォントを使用して特記事項や、危険事項について解説しています。以下の各アイコンで、特記事項内容の大まかな分類を見分けます。



このアイコンの後に表記してある内容には、必ず従ってください。



この電球アイコンでは有効なヒントとなる内容を記載してあります。ここではしばしば機能をより効率よく使用するための解決策が記載されていますが、必ずこれを実行しなければならないという内容ではありません。作業効率を図るためには一度確認しておくことをお勧めします。

更に、以下の書式を使用する場合があります。

- 各メニューで表示される内容 (Open…、Save as… 等) 及び、ハードドライブ、またはその他の記録媒体のパスはイタリックで表示されます。
 - その他の場所で表示されるテキスト (ボタン、コントロール部、チェックボックス脇のテキスト等) は青色で表示されます。この書体が使用されている場合、同じテキストをスクリーン上で確認できるはず değildir。
 - 重要な名称とコンセプトはボールド体で表示しています。
 - コンピュータのキーボード上で操作する場合はそれらのキーワードを括弧で示します (例、「[Shift] + [Return]」)。
- ▶ インストラクションの始めには、それぞれ再生ボタンのような矢印マークが添えてあります。
- 操作の結果を示す場合、小さな矢印が添えられます。

機能名称の注釈について

オーディオインターフェイスの種類は多数あるので、この資料では通例となっているオーディオインターフェイスの設定例を紹介、呼称も特別な場合以外は「オーディオインターフェイス」としています。特定のオーディオインターフェイスをさす場合は、そのオーディオインターフェイス製品名を記載しています。

1.3 パッケージ内容

TRAKTOR SCRATCH PRO 2 SOFTWARE & TIMECODE KIT には以下のアイテムを含んでいます。

- ・ TRAKTOR SCRATCH PRO 2 ソフトウェアインストーラー DVD
- ・ TRAKTOR SCRATCH PRO 2 ソフトウェアシリアルナンバーを記載したレジストレーションフライヤー
- ・ 2x コントロールヴァイナル
- ・ 2x コントロール CD
- ・ TRAKTOR ステッカー

1.4 ハードウェア動作環境

このキットを使用して TRAKTOR SCRATCH PRO システム設定を行う際には、TRAKTOR 用 (NI) オーディオインターフェイス、TRAKTOR SCRATCH 専用ミキサー、または TRAKTOR KONTROL S4 コントローラー (およびターンテーブルと DJ CD プレイヤー) が必要となります。

- ・ Native Instruments 社製専用オーディオインターフェイスは以下となります。
- ・ Audio 4 DJ
- ・ Audio 8 DJ
- ・ TRAKTOR Audio 6
- ・ TRAKTOR Audio 10

TRAKTOR SCRATCH 用認定ミキサーには以下の認可証が記載してあります。



TRAKTOR SCRATCH CERTIFIED ロゴ



この認可証が無い第三社製のオーディオインターフェイスとミキサーはサポートされておらず、TRAKTOR SCRATCH PRO 2 SOFTWARE & TIMECODE KIT を使用することはできません。

セットアップ内容によっては以下の DJ 用機材が必要となります。

- ・ 2 台のターンテーブル (または 2 x CD プレイヤー)
- ・ ヘッドフォン
- ・ アンプシステム
- ・ DJ ミキサー (オーディオインターフェイスを使用する場合)
- ・ RCA ケーブル (認定ミキサーを使用する場合)
- ・ 2 本の RCA ケーブル (オーディオインターフェイスと DJ ミキサーを使用する場合)

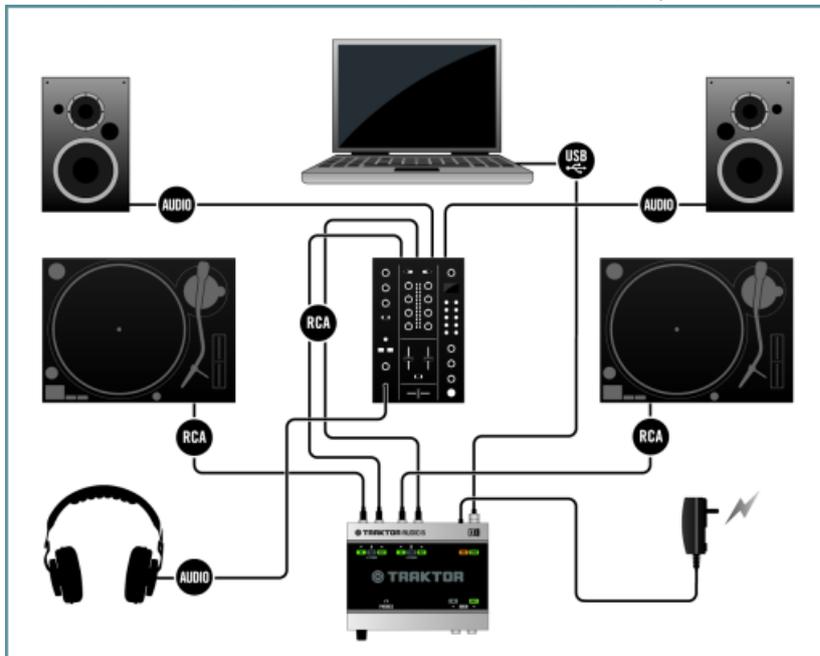
1.5 セットアップ概要

このセクションでは以下のセクションで解説する各セットアップとアップグレード内容について紹介しています。

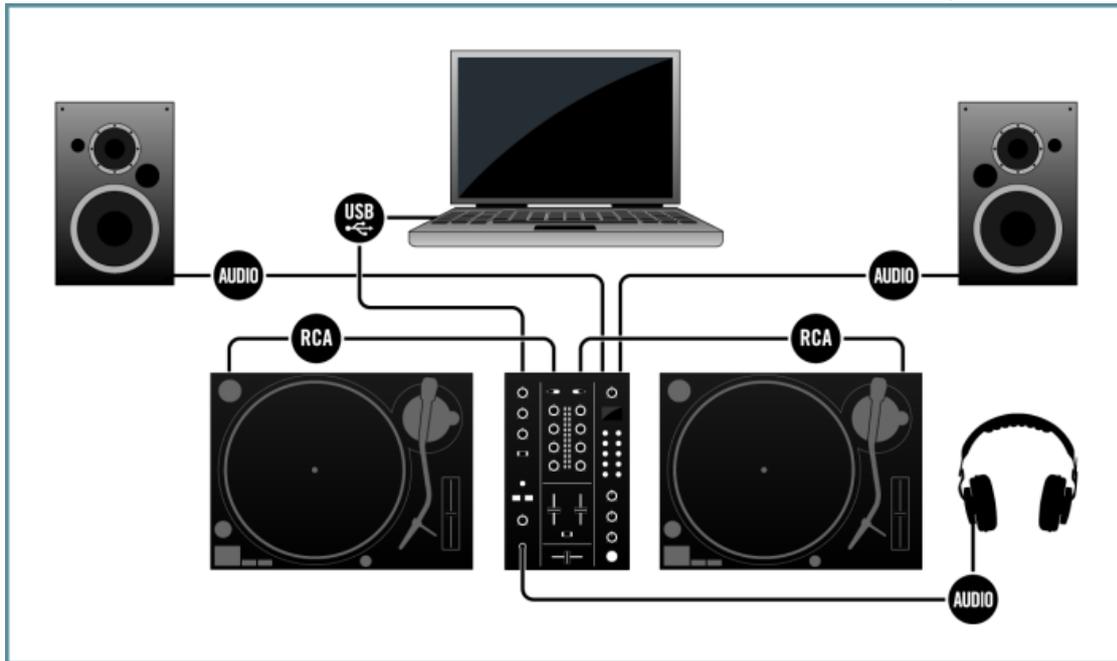


ターンテーブルについて解説する内容は CD プレイヤーでもその内容を参照できるものとしてお考えください。

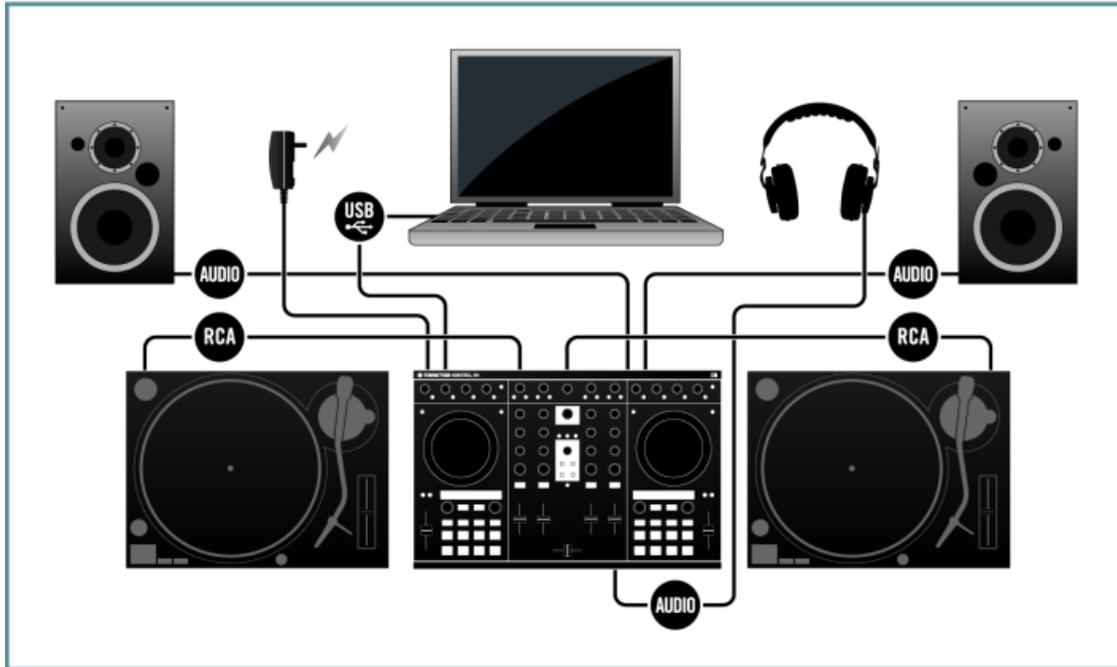
- ↑2, セットアップ A: オーディオインターフェイス - DJ ミキサー - ターンテーブル: この章ではオーディオインターフェイスに DJ ミキサーと 2 台のターンテーブルを接続する方法を解説します。ここでの内容はオーディオインターフェイスを用いた一般的なデジタル DJ セットアップで、コンピュータにコントロールヴァイナルからのタイムコード信号を送信します。



- ↑3, セットアップ B: 認定ミキサー - ターンテーブル: この章では 2 台のターンテーブルと TRAKTOR 認定ミキサーを接続する方法を解説します。認定ミキサーはオーディオインターフェイスとしても機能し、コンピュータにコントロールヴァイナルからのタイムコード信号を送信します。



- ↑4, セットアップ C: TRAKTOR KONTROL S4 - ターンテーブル: この章では 2 台のターンテーブルと TRAKTOR KONTROL S4 を接続する方法を解説します。コントローラーはオーディオインターフェイスとしても機能し、コンピュータにコントロールヴァイナルからのタイムコード信号を送信します。



- ↑8, 初期 TRAKTOR SCRATCH PRO / DUO システムのアップグレード: 使用しているハードウェアシステムを変更することなく以前のバージョンから TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にアップグレードすることが可能です。以下の製品はアップグレード可能です。
 - TRAKTOR SCRATCH PRO (AUDIO 8 DJ、マルチコアケーブルも含む)
 - TRAKTOR SCRATCH DUO (AUDIO 4 DJ、マルチコアケーブルも含む)

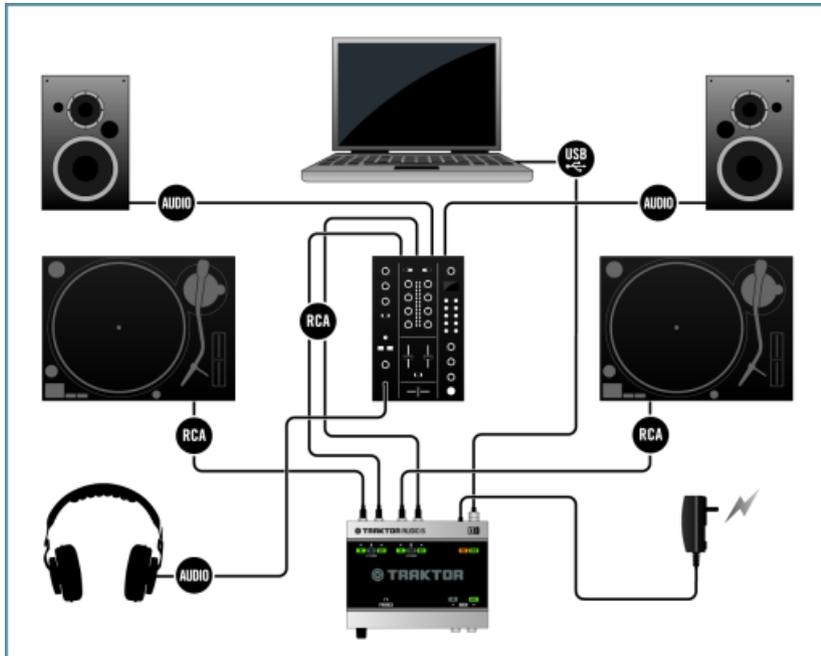
2 セットアップ A: オーディオインターフェイス - DJ ミキサー - ターンテーブル

: この章ではオーディオインターフェイスに DJ ミキサーと 2 台のターンテーブル、または CD プレイヤーを接続する方法を解説します。ここでの内容はオーディオインターフェイスを用いた一般的なデジタル DJ セットアップで、コンピュータにコントロールヴァイナル/CD からのタイムコードシグナルを送信します。



この TRAKTOR SCRATCH PRO 2 セットアップ解説では TRAKTOR AUDIO 6 オーディオインターフェイスを使用しています。ここでの設定内容は TRAKTOR AUDIO 10、AUDIO 4 DJ、AUDIO 8 DJ に置き換えて応用することができます。

以下のセットアップ例を参照してください。



セットアップ A: オーディオインターフェイス - DJ ミキサー - ターンテーブル



DC パワーサプライは TRAKTOR AUDIO 6 使用時に必ず必要なものではありませんが、TRAKTOR AUDIO 10 を使用する際には必ず使用してください。AUDIO 4 DJ と AUDIO 8 DJ はこのパワーサプライを必要としません。



TRAKTOR AUDIO 10 を使用している場合は DC パワーサプライを接続してあるものと前提して解説します。詳細は TRAKTOR AUDIO 10 マニュアルを参照してください。

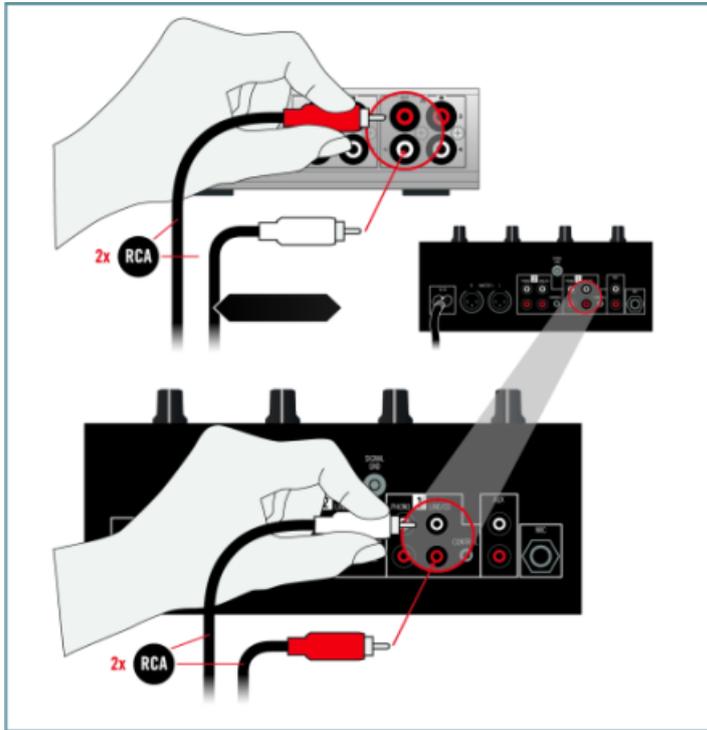
2.1 DJ ミキサーにオーディオインターフェイスを接続する。

TRAKTOR を使用してトラックの再生とミックスを行うために、DJ ミキサーとオーディオインターフェイスを接続する必要があります。以下の項目を確認してから設定を進めてください。

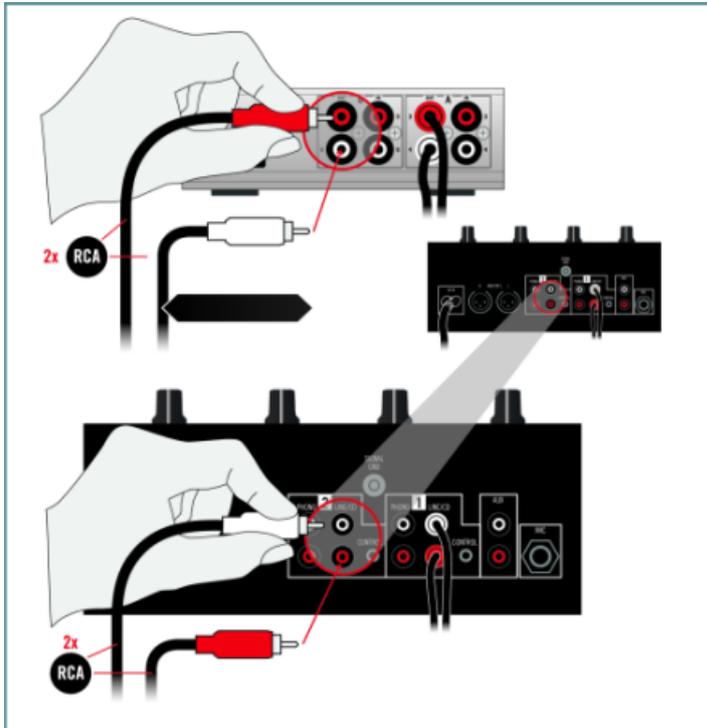
- ・オーディオインターフェイスをコンピュータに接続していない状態から設定を進めてください。
- ・DJ ミキサーを電源に接続し、スイッチは入れていない状態であるか確認してください。DJ ミキサーのスイッチを既に入れてある場合は、スイッチを切ってください。
- ・ここで解説する DJ ミキサーと、ご自身が使用しているミキサーの仕様 (モデル、端子、コントロール各部) が異なる場合があります。使用している DJ ミキサーの使用法詳細に関しては、DJ ミキサーの資料を参照してください。
- ・オーディオインターフェイスのハードウェアドライバは、すでにコンピュータにインストールしてあるか確認してください。

以下は DJ ミキサーとオーディオインターフェイスの接続方法です。

1. オーディオインターフェイスのリアパネルにあるチャンネル A (OUT) のオーディオアウトプットと DJ ミキサーの Line/CD インプットを、RCA ケーブルを使用して接続してください。



- オーディオインターフェイスのリアパネルにあるチャンネル B (OUT) のオーディオアウトプットと DJ ミキサーの Line/CD インプットを、もう一本の RCA ケーブルを使用して接続してください。

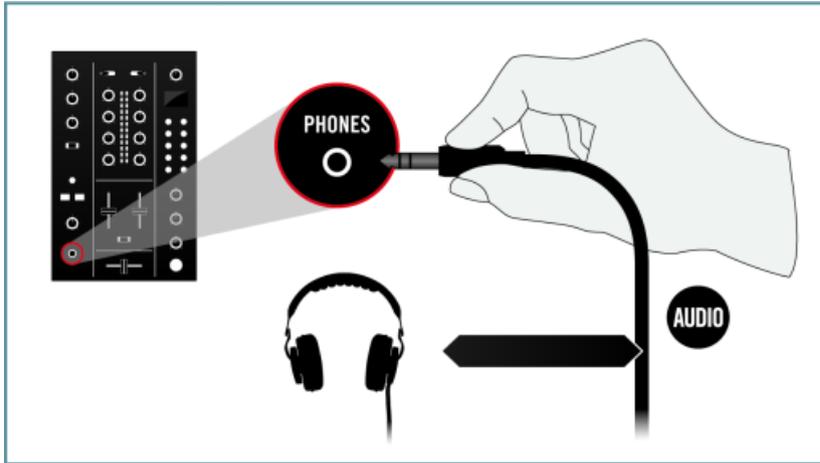


- オーディオインターフェイスに接続してある DJ ミキサーチャンネルを (インプットモード切替がある場合は) Line インプットモードに切り替えてください。

2.2 DJ ミキサーにヘッドフォンを接続する

以下の方法で DJ ミキサーにヘッドフォンを接続します。

- ▶ ヘッドフォンを DJ ミキサーのヘッドフォン端子(殆どの場合 "Headphones" または "Phones" と明記してあります) に接続します。



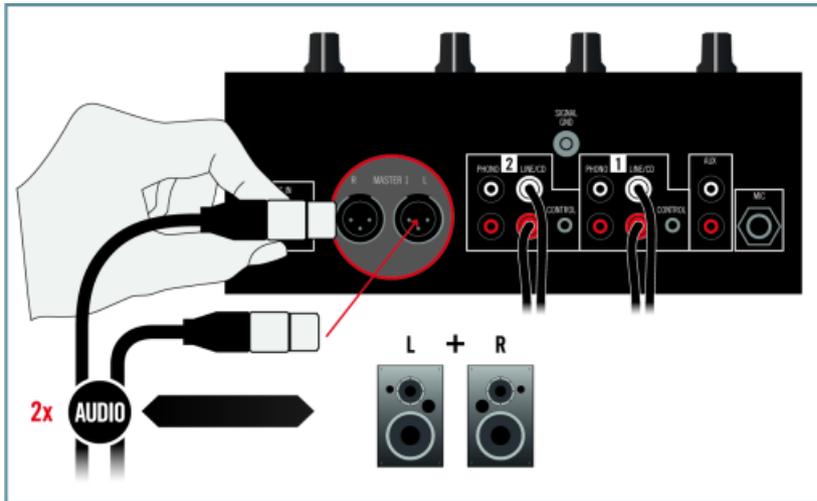
 ヘッドフォンを接続する際は常に、ヘッドフォンボリュームコントロールを最小にしてから行ってください。その後音声を再生して徐々に音量を上げて適切な音量にしてください。

2.3 アンプシステムと DJ ミキサーを接続する

 まずアンプシステム(アクティブスピーカー、またはパワーアンプ)のスイッチをオフの状態にしてください。

以下の方法でアンプシステム (またはアクティブスピーカー) と DJ ミキサーを接続します。

- ▶ DJ ミキサーの Main アウトプット、または Master アウトプットとアンプシステムのインプットを適切なケーブルを用いて接続します。



2.4 ターンテーブルとオーディオインターフェイスを接続する

⚠ ターンテーブルの代わりに CD プレイヤーを使用する場合は、この章は飛ばして↑2.5, CD プレイヤーとオーディオインターフェイスを接続するに進んでください。

対応するコントロールヴァイナル (Control Vinyl) を使用して TRAKTOR で再生しているトラックをコントロールするには、以下のようにオーディオインターフェイスをターンテーブルに接続する必要があります。以下の項目を確認してから設定を進めてください。

- ・ここでは実際に DJ の立ち位置の見た目で設定を行うこととし、DJ ミキサーを中心に左右にターンテーブルがあるものとします。更に、このセットアップガイドでは左右ターンテーブルを L 及び R と表記します。
- ・ここではターンテーブルを電源部に接続し、まだスイッチは入れていない状態から解説を進めます。各ターンテーブルのスイッチを既に入れてある場合は、スイッチを切ってください。
- ・ターンテーブルの機種によってはラインレベルアウトプット、またはフォノアウトとは別に他の端子を使用する場合があります。このセットアップガイド (Setup Guide) では通常のフォノアウトプットを使用したターンテーブルとオーディオインターフェイスを接続するものとして解説を進めます。

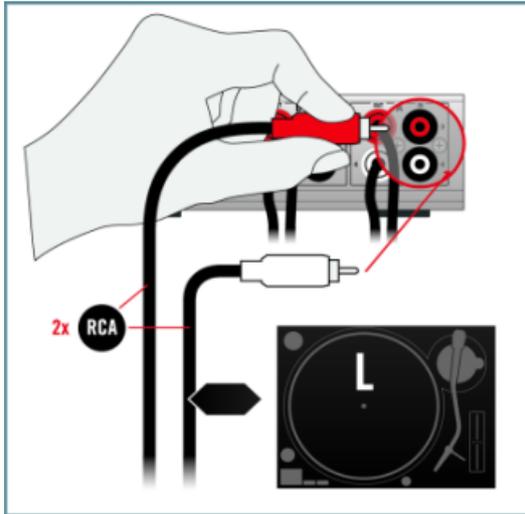
2.4.1 左ターンテーブルの接続 (L)



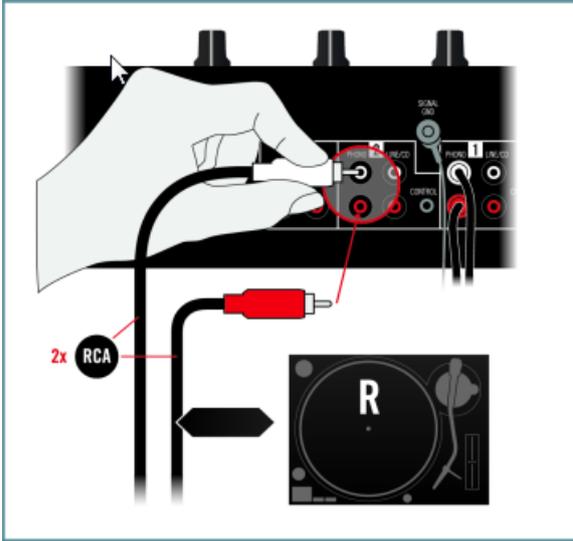
殆どのターンテーブルでオーディオケーブルとグラウンド線は機器にまとまった状態で接続してあります。

以下は左ターンテーブルの接続方法です。

1. 左ターンテーブル (L) の左右オーディオアウトプットケーブルをオーディオインターフェイスのバックパネルの inputs A に接続します。



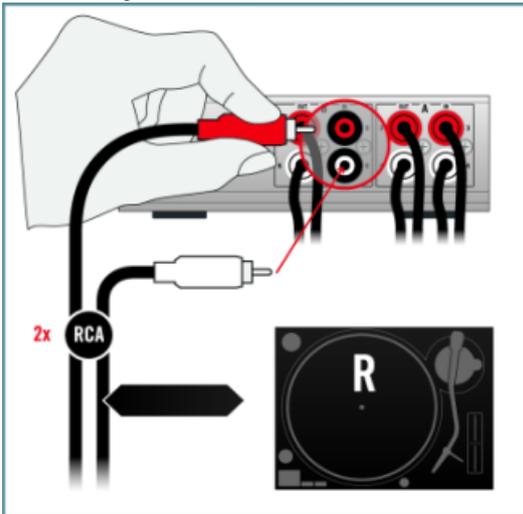
2. ターンテーブル L のグラウンド線を DJ ミキサーのグラウンドスクリューに接続します。



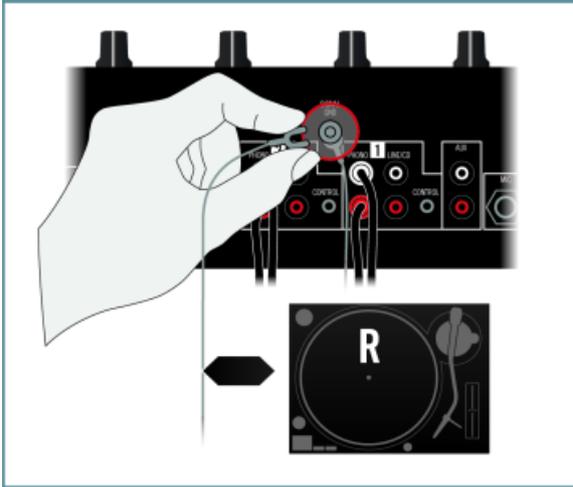
2.4.2 右ターンテーブルの接続 (R)

以下が右ターンテーブルの接続方法です。

1. 右ターンテーブル (R) の左右オーディオアウトケーブルをオーディオインターフェイスのバックパネルの inputs B に接続します。



2. ターンテーブル R のグラウンド線を DJ ミキサーのグラウンドスクリューに接続します。



両方のグラウンド線を同じグラウンドスクリューに接続することも可能です。

- ここまでで TRAKTOR SCRATCH PRO 2 ハードウェアセットアップは完了です。
- ▶ ↑5、ソフトウェアインストール章の TRAKTOR ソフトウェアインストールに進んでください。

2.5 CD プレイヤーとオーディオインターフェイスを接続する

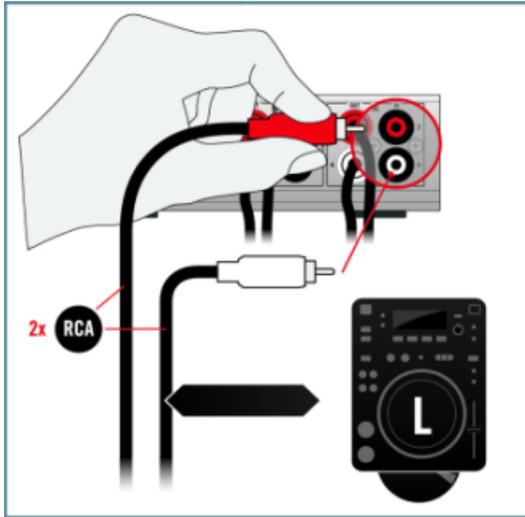
対応するコントロール CD (Control CD) を使用して TRAKTOR で再生しているトラックをコントロールするには、以下のようにオーディオインターフェイスを CD プレイヤーに接続する必要があります。以下の項目を確認してから設定を進めてください。

- ・ここでは実際に DJ の立ち位置の見え目で設定を行うこととし、DJ ミキサーを中心に左右に CD プレイヤーがあるものとします。更に、このセットアップガイドでは左右 CD プレイヤーを L 及び R と表記します。
- ・ここでは CD プレイヤーを電源部に接続し、まだスイッチは入れていない状態から解説を進めます。各ターンテーブルのスイッチを既に入れてある場合は、スイッチを切ってください。

2.5.1 左 CD プレイヤーの接続 (L)

以下の方法で左 CD プレイヤーを接続します。

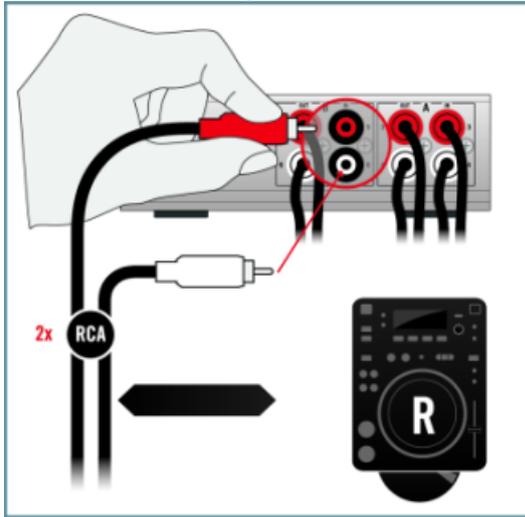
- ▶ 左 CD プレイヤー (L) の左右オーディオアウトプットソケットをオーディオインターフェイスのバックパネルの inputs A に接続します。



2.5.2 右 CD プレイヤーの接続 (R)

以下の方法で右 CD プレイヤーを接続します。

- ▶ 右 CD プレイヤー (R) の左右オーディオアウトケーブルをオーディオインターフェイスのバックパネルの inputs B に接続します。

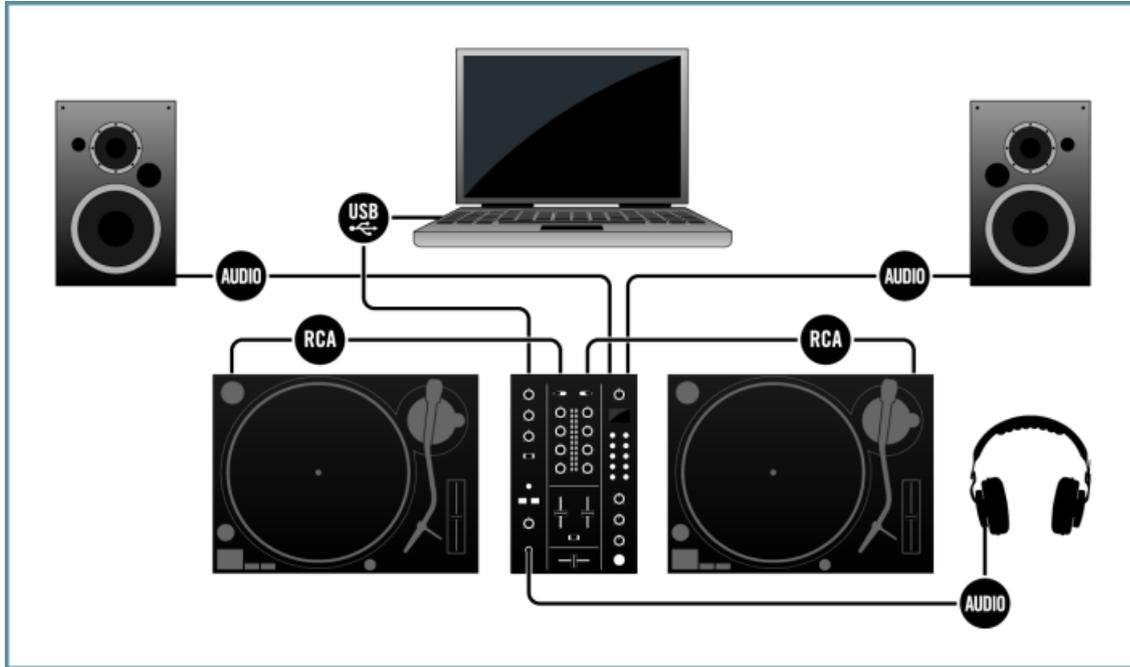


- ここまでで TRAKTOR SCRATCH PRO 2 ハードウェアセットアップは完了です。
- ▶ ↑5, ソフトウェアインストール章の TRAKTOR ソフトウェアインストールに進んでください。

3 セットアップ B: 認定ミキサー - ターンテーブル

この章では 2 台のターンテーブル（または CD プレイヤー）と TRAKTOR 認定ミキサーを接続する方法を解説します。認定ミキサーはオーディオインターフェイスとしても機能し、コンピュータにコントロールヴァイナル/CD からのタイムコード信号を送信します。

以下の図が認定ミキサーとターンテーブルのセットアップとなります。



セットアップ B: 認定ミキサー - ターンテーブル

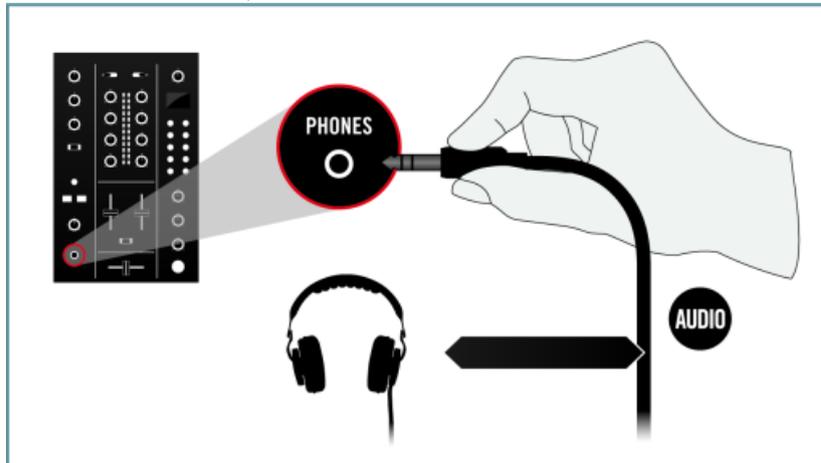
TRAKTOR SCRATCH PRO 2 を使用してトラックの再生とミックスを行うために、認定ミキサーとターンテーブルを接続する必要があります。以下の項目を確認してから設定を進めてください。

- ・ 認定ミキサーを電源に接続し、スイッチは入れていない状態であるか確認してください。認定ミキサーのスイッチを既に入れてある場合は、スイッチを切ってください。
- ・ 認定ミキサーをコンピュータに接続していない状態から設定を開始してください。
- ・ ここで解説する認定ミキサーと、ご自身が使用しているミキサーの仕様(モデル、端子、コントロール各部)が異なる場合があります。使用しているミキサーの使用法詳細に関しては、認定ミキサーの資料を参照してください。
- ・ 認定ミキサーのハードウェアドライバが、すでにコンピュータにインストールしてあるか確認してください。

3.1 認定ミキサーにヘッドフォンを接続する

以下の方法でミキサーにヘッドフォンを接続します。

- ▶ ヘッドフォンを認定ミキサーのヘッドフォン端子 (殆どの場合 "Headphones" または "Phones" と明記してあります) に接続します。



ヘッドフォンを接続する際は常に、ヘッドフォンボリュームコントロールを最小にしてから行ってください。その後音声を再生して徐々に音量を上げて適切な音量にしてください。

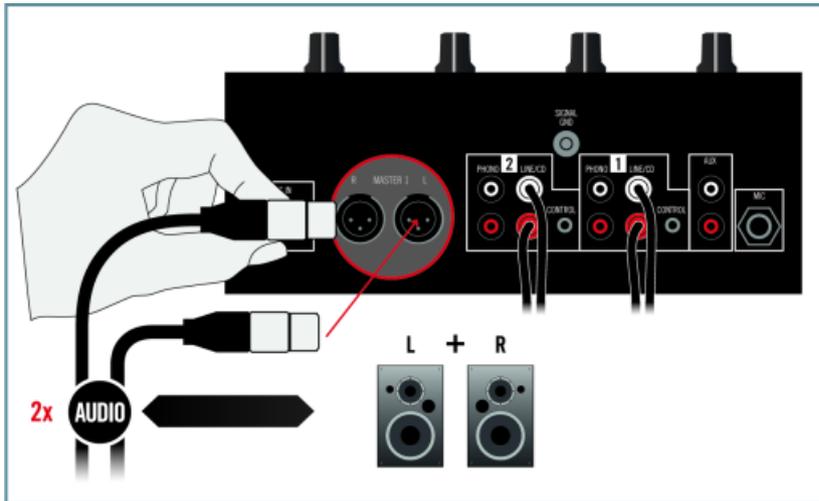
3.2 アンプシステムと認定ミキサーを接続する



まずアンプシステム (アクティブスピーカー、またはパワーアンプ) のスイッチをオフの状態にしてください。

以下の方法でアンプシステム (またはアクティブスピーカー) と認定ミキサーを接続します。

- ▶ 認定ミキサーの Main または Master アウトプットとアンプシステムのインプットを適切なケーブルを用いて接続します。



3.3 認定ミキサーにターンテーブルを接続する

⚠ ターンテーブルの代わりに CD プレイヤーを使用する場合は、この章は飛ばして [↑ 3.4, CD プレイヤーにターンテーブルを接続する](#) に進んでください。

対応するコントロールヴァイナル (Control Vinyl) を使用して TRAKTOR で再生しているトラックをコントロールするには、以下のように認定ミキサーをターンテーブルに接続する必要があります。以下の項目を確認してから設定を進めてください。

- ・ここでは実際に DJ の立ち位置の見た目で設定を行うこととし、認定ミキサーを中心に左右にターンテーブルがあるものとします。更に、このセットアップガイドでは左右ターンテーブルを L 及び R と表記します。
- ・ここではターンテーブルを電源部に接続し、まだスイッチは入れていない状態から解説を進めます。各ターンテーブルのスイッチを既に入れてある場合は、スイッチを切ってください。
- ・ターンテーブルの機種によってはラインレベルアウトプット、またはフォノアウトとは別に他の端子を使用する場合があります。このセットアップガイド (Setup Guide) では通常のフォノアウトプットを使用したターンテーブルとミキサーを接続するものとして解説を進めます。

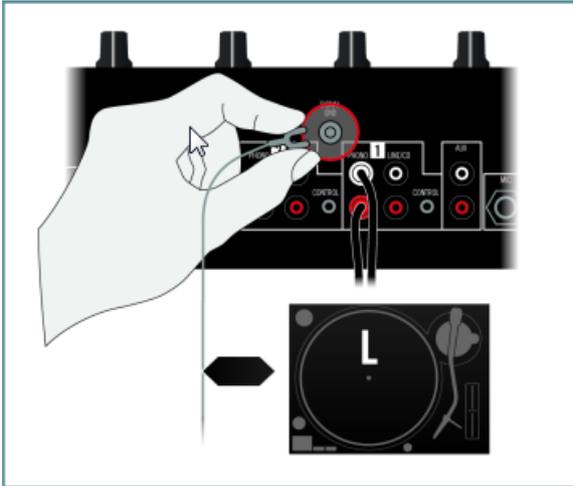
3.3.1 左ターンテーブルの接続 (L)



殆どのターンテーブルでオーディオケーブルとグラウンド線は機器にまとまった状態で接続してあります。

以下は左ターンテーブルの接続方法です。

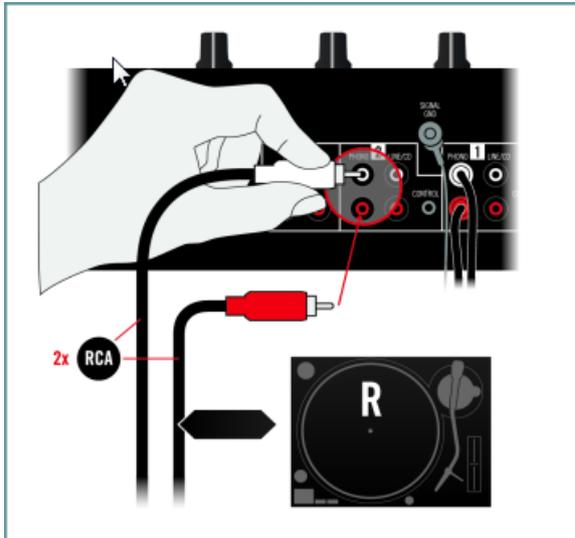
1. 左ターンテーブル (L) の左右オーディオアウトケーブルを認定ミキサーのバックパネルの inputs A または CH1 に接続します。
2. ターンテーブル L のグラウンド線を認定ミキサーのグラウンドスクリューに接続します。



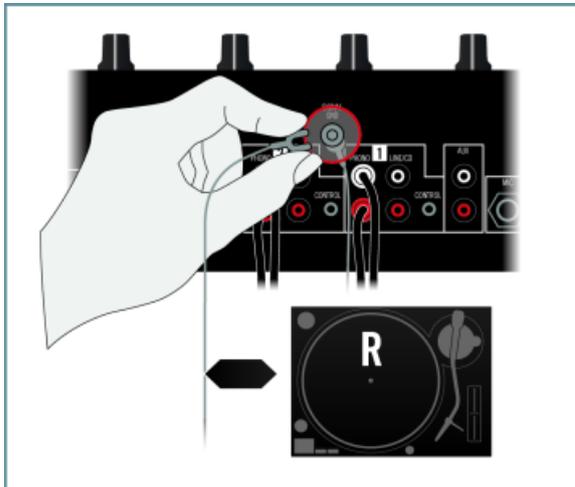
3.3.2 右ターンテーブルの接続 (R)

以下が右ターンテーブルの接続方法です。

1. 右ターンテーブル (L) の左右オーディオアウトケーブルを認定ミキサーのバックパネルの inputs B または CH2 に接続します。



2. ターンテーブル R のグラウンド線を認定ミキサーのグラウンドスクリューに接続します。



両方のグラウンド線を同じグラウンドスクリューに接続することも可能です。

→ ここまでで TRAKTOR SCRATCH PRO 2 ハードウェアセットアップは完了です。

- ▶ ↑5, ソフトウェアインストール章の TRAKTOR ソフトウェアインストールに進んでください。

3.4 CD プレイヤーにターンテーブルを接続する

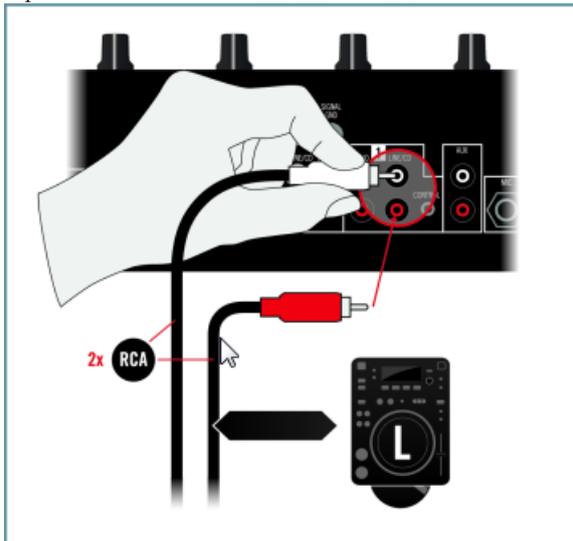
対応するコントロール CD (Control CD) を使用して TRAKTOR で再生しているトラックをコントロールするには、以下のように認定ミキサーを CD プレイヤーに接続する必要があります。以下の項目を確認してから設定を進めてください。

- ・ここでは実際に DJ の立ち位置の見目で設定を行うこととし、ミキサーを中心に左右に CD プレイヤーがあるものとします。更に、このセットアップガイドでは左右 CD プレイヤーを L 及び R と表記します。
- ・ここでは CD プレイヤーを電源部に接続し、まだスイッチは入れていない状態から解説を進めます。各ターンテーブルのスイッチを既に入れてある場合は、スイッチを切ってください。

3.4.1 左 CD プレイヤーの接続 (L)

以下の方法で左 CD プレイヤーを接続します。

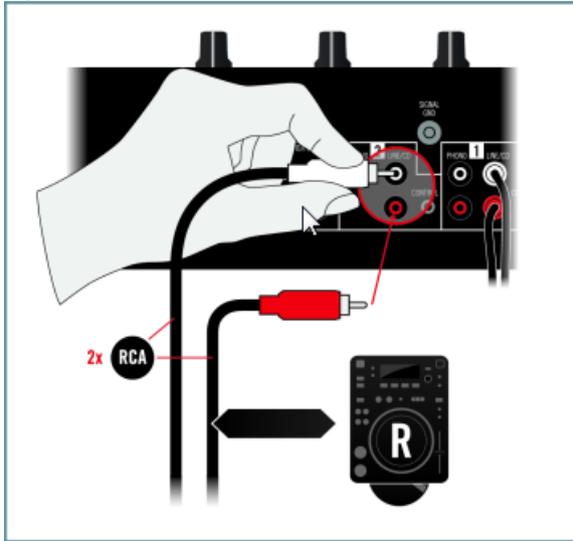
- ▶ 左 CD プレイヤー (L) の左右オーディオアウトポート端子と認定ミキサーのバックパネルの inputs A または CH1 を接続します。



3.4.2 右 CD プレイヤーの接続 (R)

以下の方法で右 CD プレイヤーを接続します。

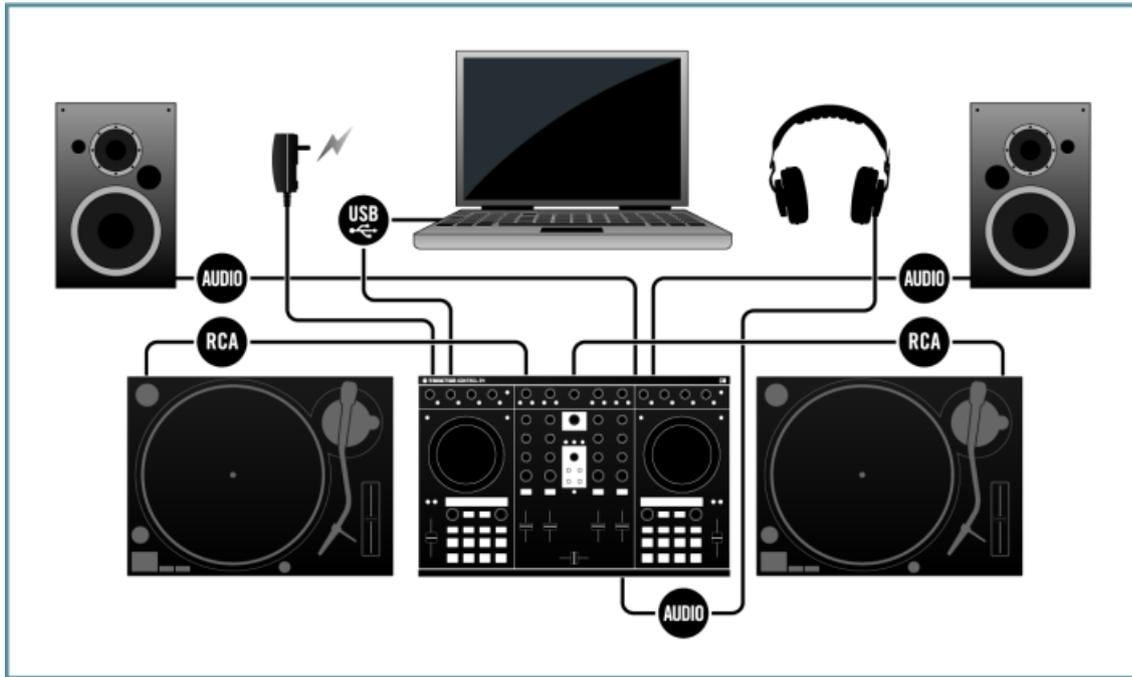
- ▶ 左 CD プレイヤー (L) の左右オーディオアウト端子と認定ミキサーのバックパネルの inputs B または CH2 を接続します。



- ここまで TRAKTOR SCRATCH PRO 2 ハードウェアセットアップは完了です。
- ▶ ↑5, ソフトウェアインストール章の TRAKTOR ソフトウェアインストールに進んでください。

4 セットアップ C: TRAKTOR KONTROL S4 - ターンテーブル

この章では2台のターンテーブルまたはCDプレイヤーと TRAKTOR KONTROL S4 を接続する方法を解説します。この設定で KONTROL S4 はオーディオインターフェイスとしても機能し、コンピュータにコントロールヴァイナル/CDからのタイムコード信号を送信します。以下の図が TRAKTOR KONTROL S4 とターンテーブルのセットアップとなります。



セットアップ C: TRAKTOR KONTROL S4 - ターンテーブル

以下の項目を確認してから設定を進めてください。

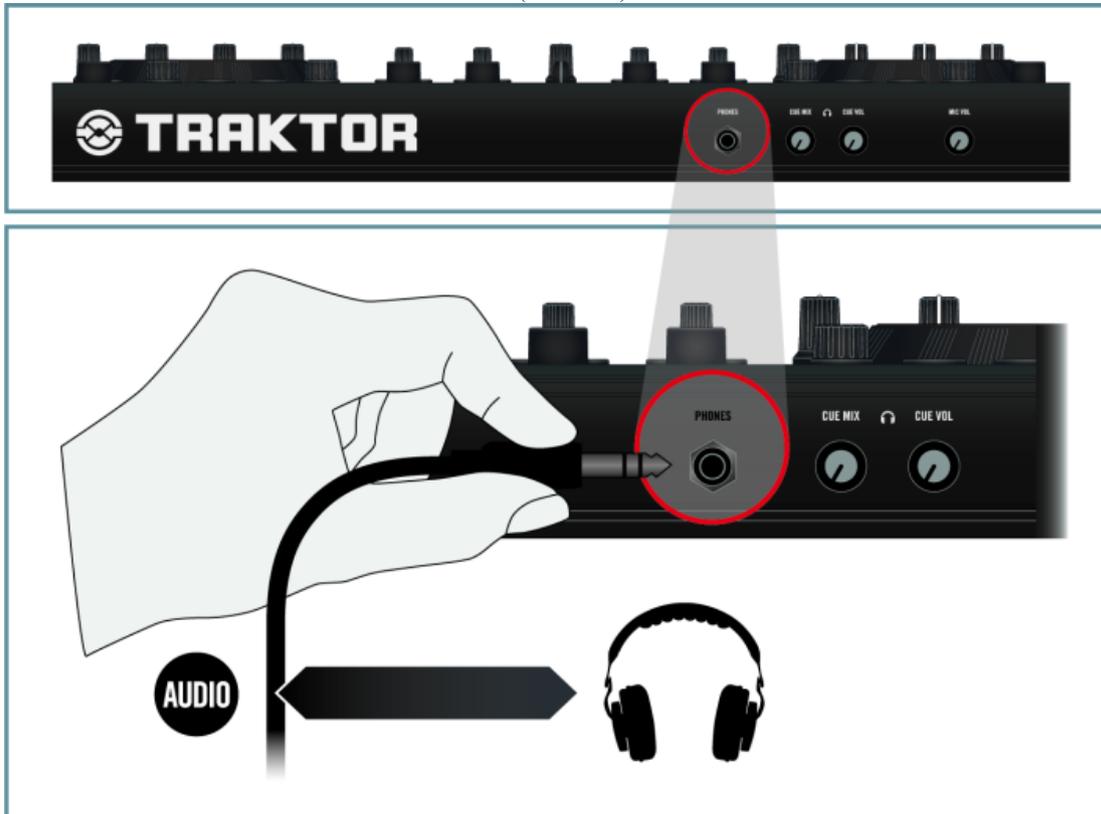
- ・ここでは TRAKTOR KONTROL S4 を電源に接続した前提で解説を進めます。詳細は TRAKTOR KONTROL S4 マニュアルを参照してください。
- ・TRAKTOR KONTROL S4 をコンピュータに接続していない状態から設定を開始してください。
- ▶ コントローラーをコンピュータに接続する前に TRAKTOR KONTROL S4 ハードウェアドライバがインストールしてあるか確認してください。

- ▶ TRAKTOR KONTROL S4 コントローラーをコンピュータの USB 2.0 ポートに直接接続してください。USB ハブに接続すると機器が正常に作動しない場合があります。

4.1 ヘッドフォンの接続

ヘッドフォンの接続方法は以下です。

1. コントローラーのフロントパネルにある CUE VOL コントロールノブを左に回しきっておきます。
2. ヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続します (PHONES)。



DC パワーが外れた状態でも USB が接続してあれば、コントローラーは音声をメイン、ヘッドフォンアウトプットに伝達します。この状態で DC パワーを接続すると、コントローラーのヘッドフォンアウトプット信号は非常に大きくなります。ですので DC パワーは接続した状態でアウトプットレベルを調整するとよいでしょう。

4.2 アンプシステムへの接続

まずアンプシステム (アクティブスピーカー、またはパワーアンプ) のスイッチをオフの状態にしてください。以下の方法でアンプシステム (またはアクティブスピーカー) と認定ミキサーを接続します。

1. S4 のトップパネルで、MAIN LEVEL ノブを左に回しきります。



2. TRAKTOR KONTROL S4 コントローラーの背面パネルにある Main Output ソケット 1 (MAIN 1) とアンプシステムの左チャンネルを接続、Main Output 2 (MAIN 2) は右チャンネルに接続します。アンプシステムの接続端子の種類によって、S4 の RCA (unbalanced) または 1/4" (balanced) アウトプット端子を使い分けます。

4.3 ターンテーブルの接続

 ターンテーブルの代わりに CD プレイヤーを使用する場合は、この章は飛ばして [↑4.4, CD プレイヤーの接続](#) に進んでください。

対応するコントロールヴァイナル (Control Vinyl) を使用して TRAKTOR で再生しているトラックをコントロールするには、以下のように TRAKTOR KONTROL S4 をターンテーブルに接続する必要があります。以下の項目を確認してから設定を進めてください。

- ここでは実際に DJ の立ち位置の見た目で行うこととし、TRAKTOR KONTROL S4 を中心に左右にターンテーブルがあるものとします。更に、このセットアップガイドでは左右ターンテーブルを L 及び R と表記します。
- ここではターンテーブルを電源部に接続し、まだスイッチは入れていない状態から解説を進めます。各ターンテーブルのスイッチを既に入れてある場合は、スイッチを切ってください。
- ターンテーブルの機種によってはラインレベルアウトプット、またはフォノアウトとは別に他の端子を使用する場合があります。このセットアップガイド (Setup Guide) では通常のフォノアウトプットを使用したターンテーブルと TRAKTOR KONTROL S4 を接続するものとして解説を進めます。

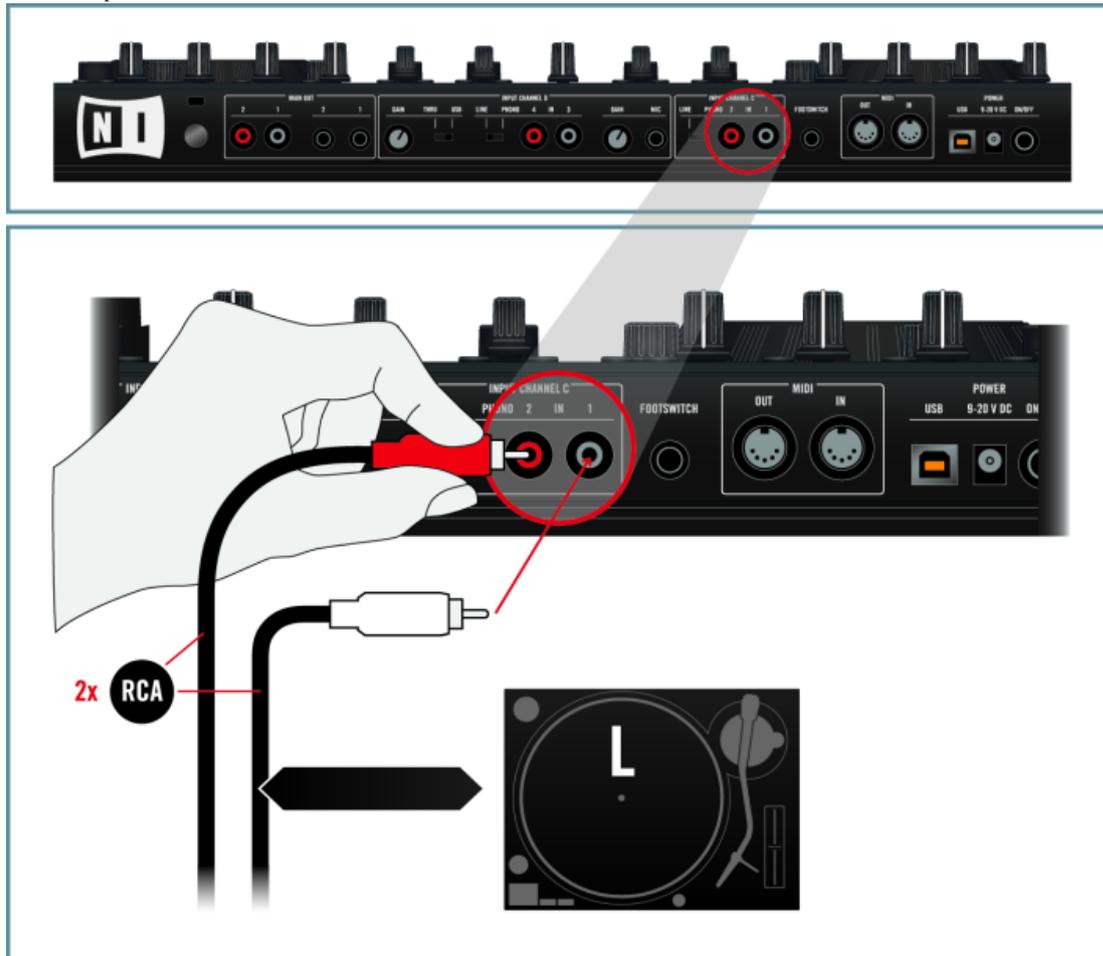
4.3.1 左ターンテーブルの接続 (L)



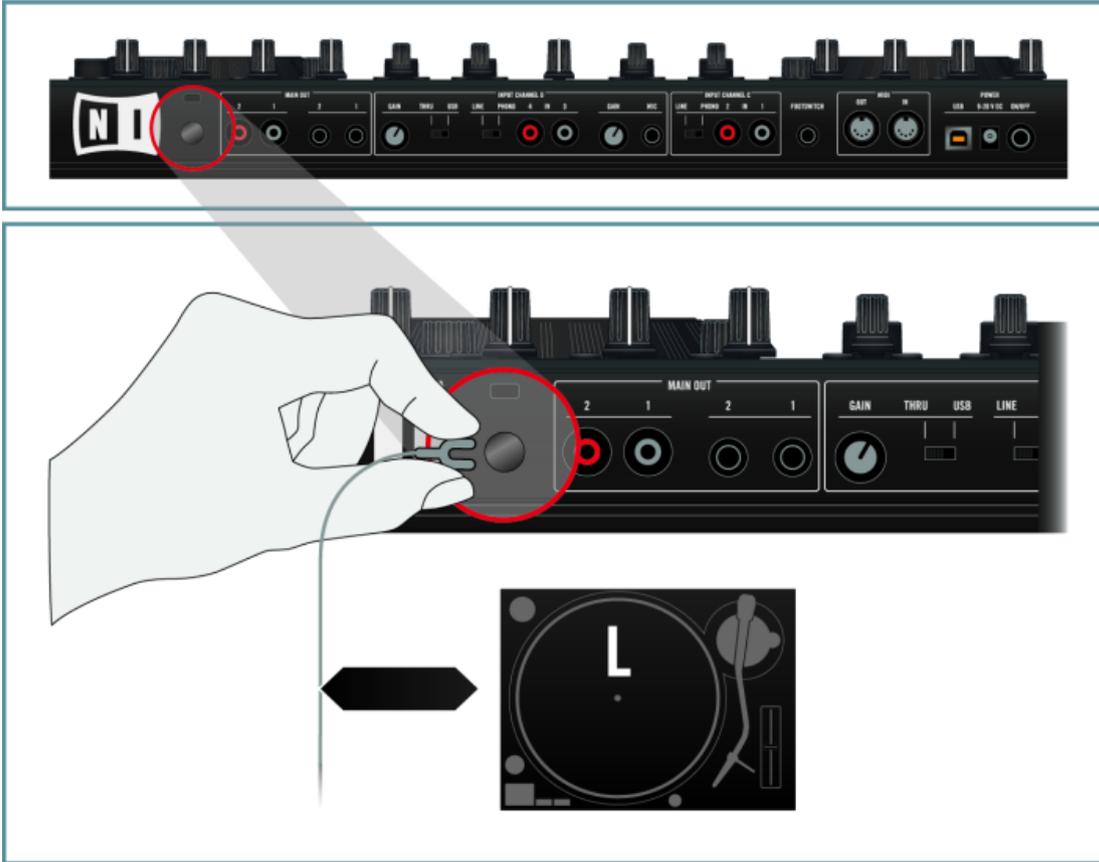
殆どのターンテーブルでオーディオケーブルとグラウンド線は機器にまとまった状態で接続してあります。

以下は左ターンテーブルの接続方法です。

1. 左ターンテーブル (L) の左右オーディオアウトケーブルを TRAKTOR KONTROL S4 のバックパネルの input Channel C に接続します。



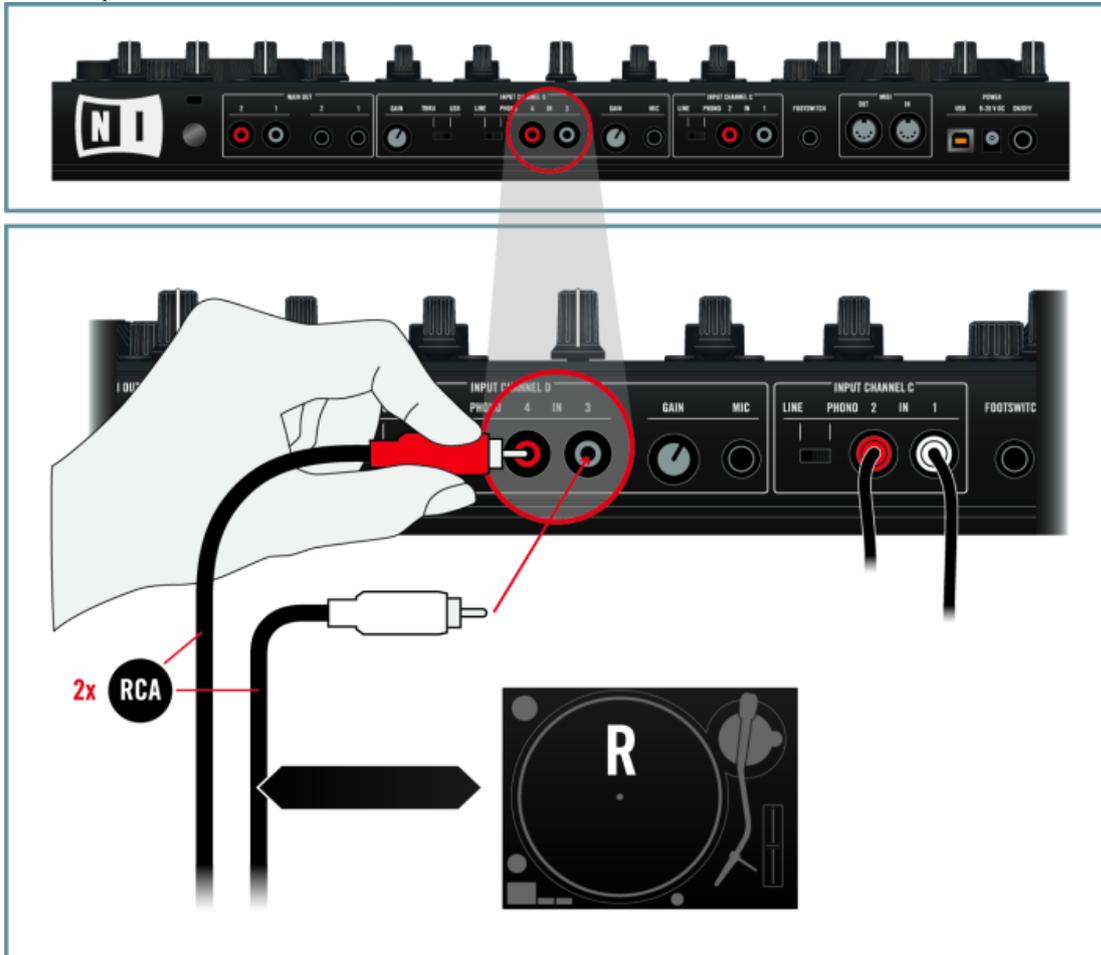
2. LINE/PHONO スイッチを phono にします。
3. ターンテーブル L のグラウンド線を TRAKTOR KONTROL S4 のグラウンドスクリューに接続します。



4.3.2 右ターンテーブルの接続 (R)

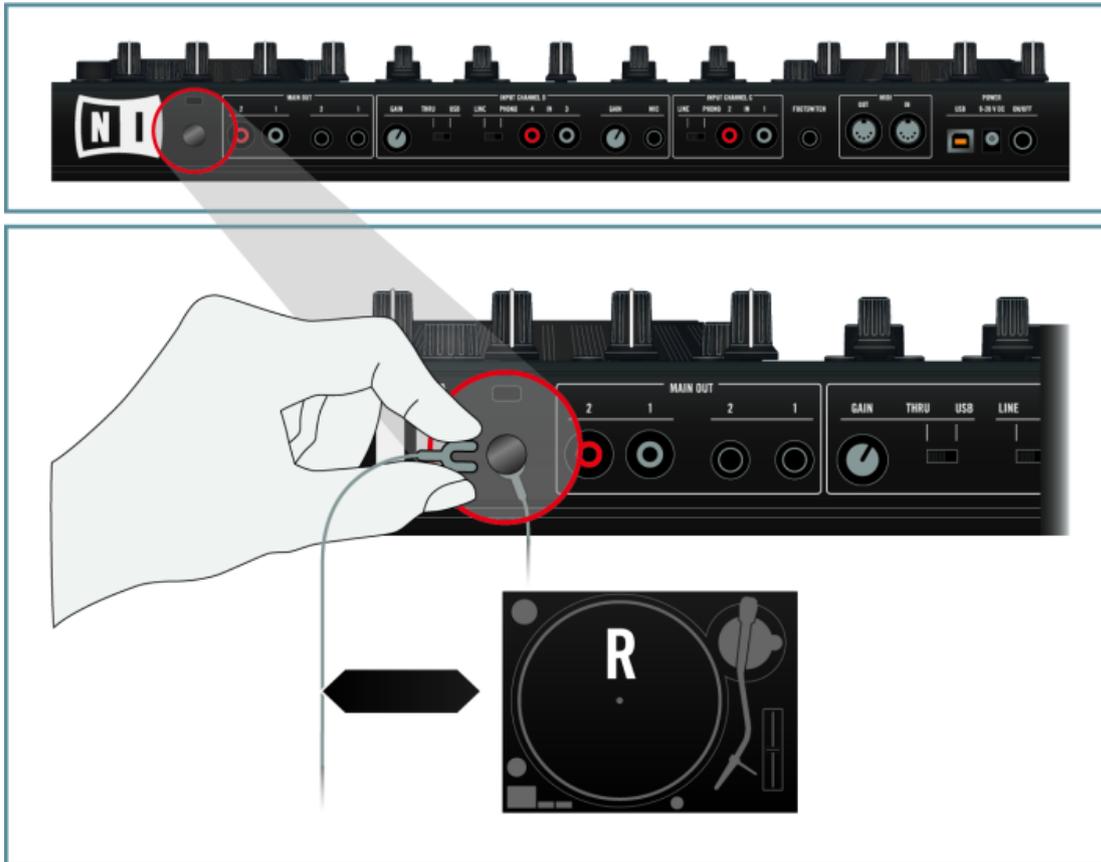
以下が右ターンテーブルの接続方法です。

1. 右ターンテーブル (R) の左右オーディオアウトケーブルを TRAKTOR KONTROL S4 のバックパネルの input Channel D に接続します。



2. LINE/PHONO スイッチを phono にします。

3. ターンテーブル R のグラウンド線を TRAKTOR KONTROL S4 のグラウンドスクリューに接続します。



両方のグラウンド線を同じグラウンドスクリューに接続することも可能です。

- ここまでで TRAKTOR SCRATCH PRO 2 ハードウェアセットアップは完了です。
- ▶ ↑5, ソフトウェアインストール章の TRAKTOR ソフトウェアインストールに進んでください。

4.4 CD プレイヤーの接続

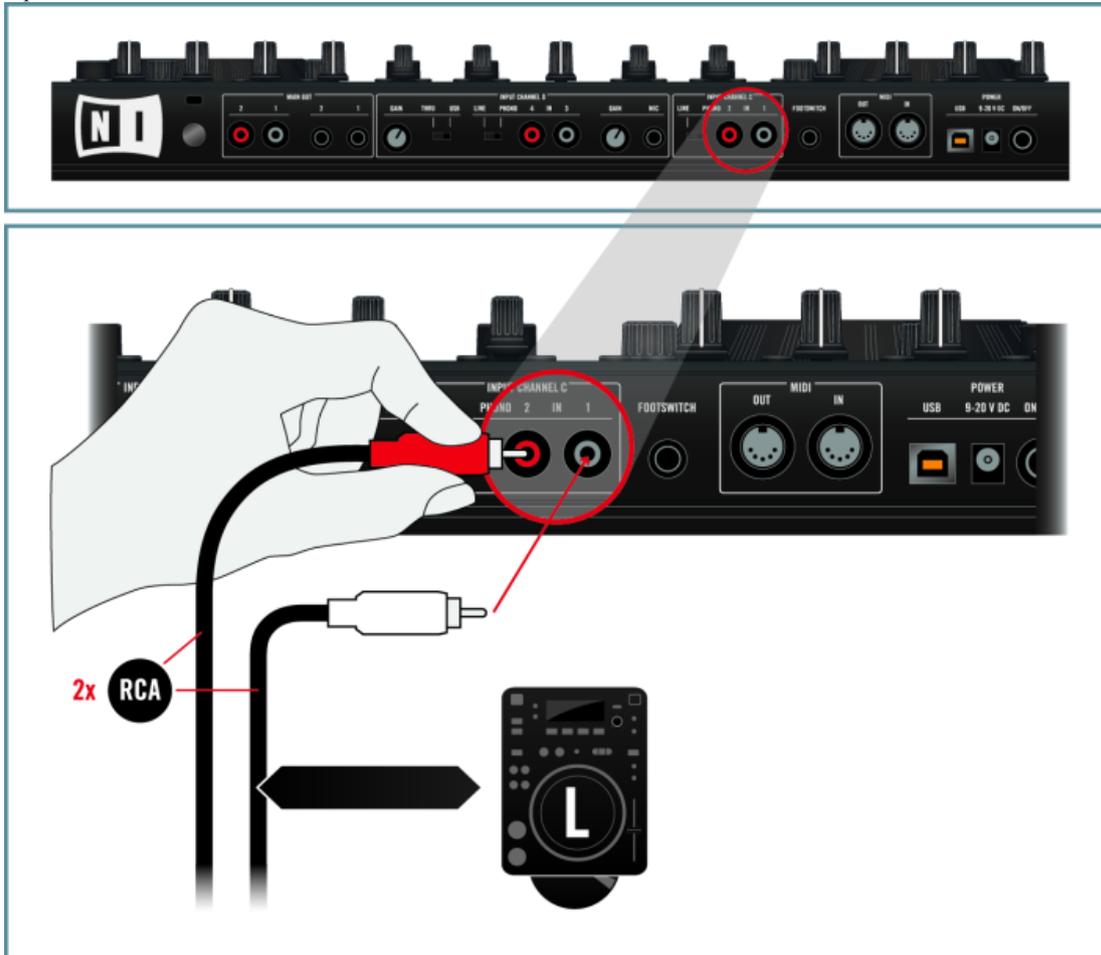
対応するコントロール CD (Control CD) を使用して TRAKTOR で再生しているトラックをコントロールするには、以下のように TRAKTOR KONTROL S4 オーディオインターフェイスを CD プレイヤーに接続する必要があります。以下の項目を確認してから設定を進めてください。

- ・ここでは実際に DJ の立ち位置の見た目で設定を行うこととし、TRAKTOR KONTROL S4 を中心に左右に CD プレイヤーがあるものとします。更に、このセットアップガイドでは左右 CD プレイヤーを L 及び R と表記します。
- ・ここでは CD プレイヤーを電源部に接続し、まだスイッチは入れていない状態から解説を進めます。各ターンテーブルのスイッチを既に入れてある場合は、スイッチを切ってください。

4.4.1 左 CD プレイヤーの接続 (L)

以下の方法で左 CD プレイヤーを接続します。

1. 左 CD プレイヤー (L) の左右オーディオアウトプットと TRAKTOR KONTROL S4 のバックパネルの input Channel C を接続します。

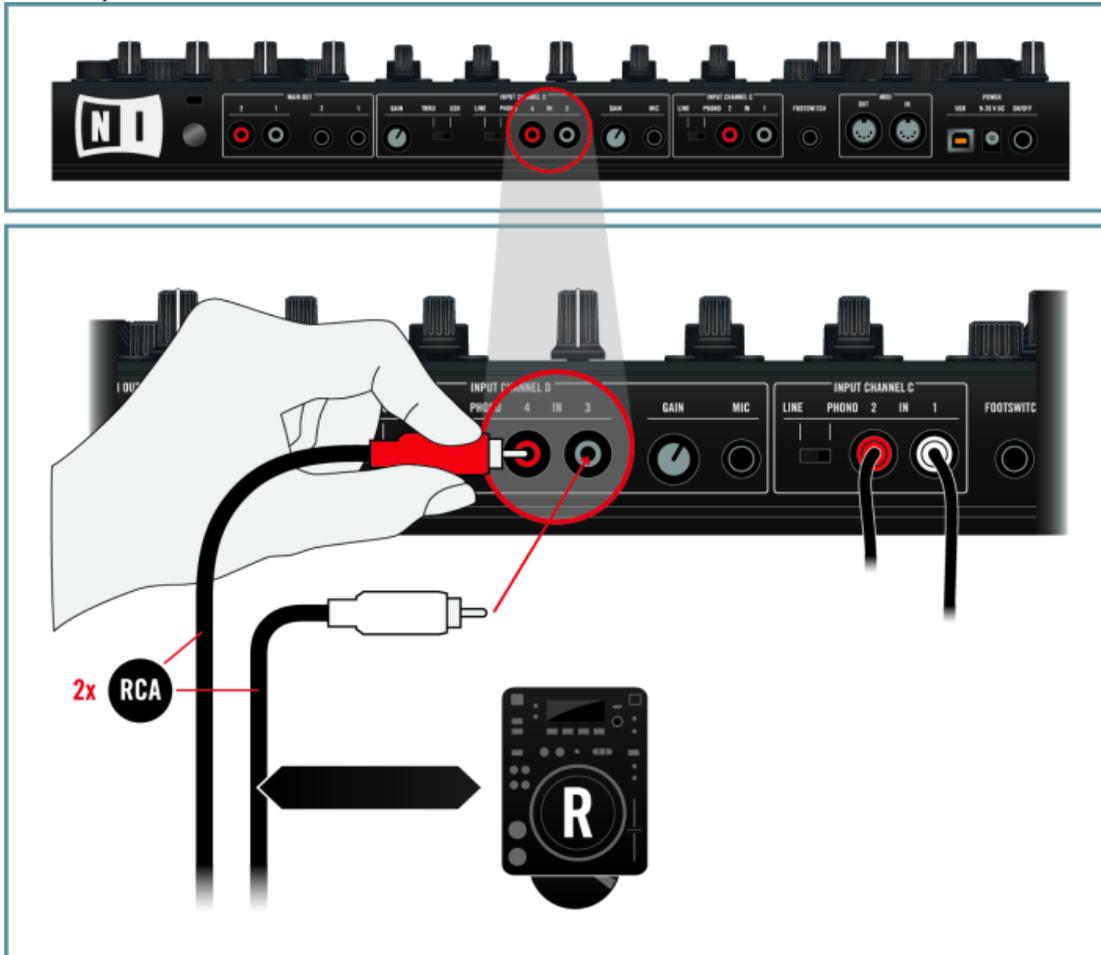


2. LINE/PHONO スイッチを line にします。

4.4.2 右 CD プレイヤーの接続 (R)

以下の方法で右 CD プレイヤーを接続します。

1. 右 CD プレイヤー (R) の左右オーディオアウトケーブルを TRAKTOR KONTROL S4 のバックパネルの input Channel D に接続します。



2. LINE/PHONO スイッチを line にします。
→ ここまで TRAKTOR SCRATCH PRO 2 ハードウェアセットアップは完了です。
▶ ↑5, ソフトウェアインストール章の TRAKTOR ソフトウェアインストールに進んでください。

5 ソフトウェアインストール

- ・ インストールスクリーンを注意深く読み、ハードディスク内に不必要なフォルダが作成されるのを防ぐ為にインストール先となるパスを十分に確認します。
- ・ インストール後に行うソフトウェアアップデートは初期インストールの時点で使用したディレクトリを参照するため、Native Instruments ソフトウェアに関係あるフォルダをインストール後に移動することは推奨しません。後に行われるソフトウェアアップデートは初期インストールの時点で使用したディレクトリを参照します。

5.1 Mac OS X へのインストール



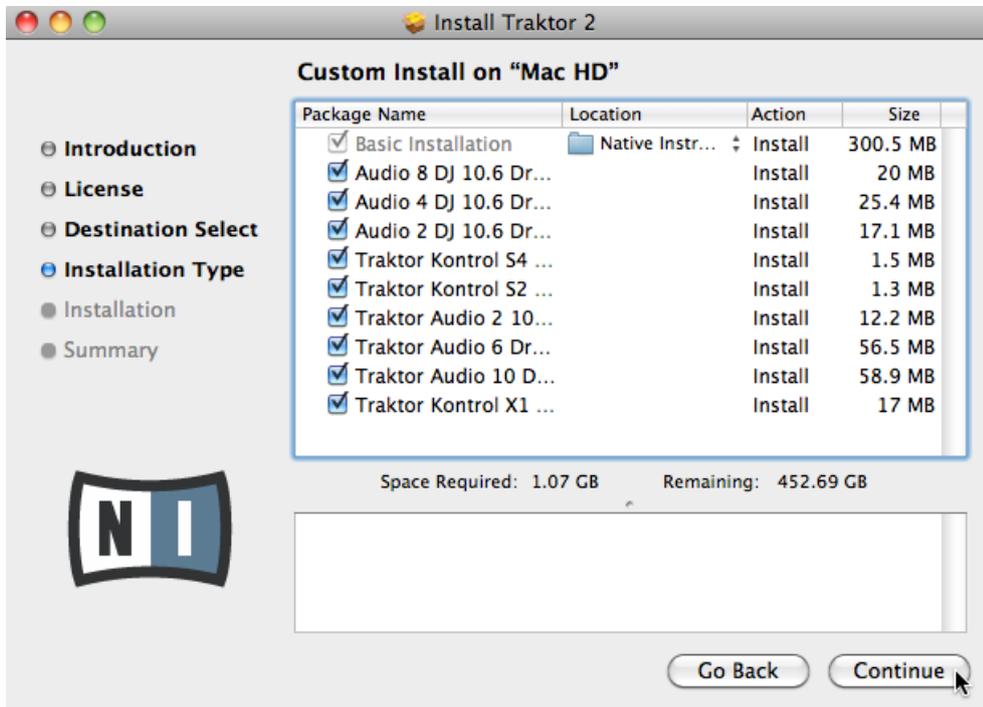
このインストール作業の最後にコンピュータを再起動する必要があります。再起動を行う際には、事前に行っている各編集作業内容を保存し、全てのアプリケーションを閉じてください。

5.1.1 インストールプログラムを確認し、起動する

1. 使用しているコンピュータの CD/DVD-ROM ドライブに TRAKTOR ソフトウェア DVD を挿入してください。
2. DVD 内の Traktor 2.5.0 Installer Mac.mpkg ファイルを探してください。
3. Traktor 2.5.0 Installer Mac.mpkg ファイルをダブルクリックしてインストールを開始してください。
4. スクリーンで表示される手順に従ってください。

5.1.2 インストールするコンポーネントの選択

ソフトウェアライセンス内容に同意した後、インストーラーウィンドウがインストール可能なコンポーネントを表示します。このインストールスクリーンでは各コンポーネントが使用するディスクスペースも表示します。



インストールプログラムのコンポーネント選択画面です。

 選択解除する理由(コンポーネントを既にインストールしてある場合、特定のコンポーネントが必要無いことを確信している場合)が特にならない場合は、全てを選択したままにします。

Basic Installation: TRAKTOR ソフトウェアと、関連資料をインストールします。このコンポーネントの選択解除はできません。このインストールで製品起動に必要な Service Center アプリケーションと、本ソフトウェア以外を使用する際にコントローラーを使用する場合に必要なコントローラー MIDI アサインを行うための Controller Editor アプリケーションをインストールします。

Audio 8/4/2 DJ Drivers: このコンポーネントで Native Instruments 社製 AUDIO 8 DJ、AUDIO 4 DJ、AUDIO 2 DJ の各オーディオインターフェイス用ドライバをインストールします。オーディオインターフェイスを使用しない場合は、このチェックボックスを選択しない状態にします。

Traktor Kontrol S4: ここで TRAKTOR KONTROL S4 コントローラー用ドライバをインストールします。TRAKTOR KONTROL S4 コントローラーを使用しない場合は、このチェックボックスを選択していない状態にします。

Traktor Kontrol S2: ここで TRAKTOR KONTROL S2 コントローラー用ドライバをインストールします。TRAKTOR KONTROL S2 コントローラーを使用しない場合は、このチェックボックスを選択していない状態にします。

Traktor Audio 2/6/10 Drivers: ここで Native Instruments 製 TRAKTOR AUDIO 2、TRAKTOR AUDIO 6、TRAKTOR AUDIO 10 の各オーディオインターフェイス用ドライバをインストールします。オーディオインターフェイスを使用しない場合は、このチェックボックスを選択しない状態にします。

Traktor Kontrol X1: ここで TRAKTOR KONTROL X1 DJ コントローラー用ドライバをインストールします。TRAKTOR KONTROL X1 コントローラーを使用しない場合は、このチェックボックスを選択していない状態にします。

バックグラウンドコンポーネント

これらのコンポーネントはインストールウィンドウには表示されず、システムの設定内容によってインストールされます。

Controller Editor: コントロールエディター (Controller Editor) アプリケーションで Native Instruments 社製ハードウェアコントローラー (例、TRAKTOR KONTROL S4 または X1) を TRAKTOR ソフトウェア以外の用途で使用する MIDI コントローラーとして使用する為の設定を行います。このコンポーネントはコントローラードライバのひとつをインストールすることで自動的にインストールされます (最新バージョンの Controller Editor がすでに使用しているコンピュータにインストールしてある場合を除く)。

Service Center: サービスセンター (Service Center) アプリケーションは TRAKTOR PRO ソフトウェアの製品起動を行う際に必要です。選択しているドライバとは無関係にインストールされます (既に最新バージョンのアプリケーションがインストールしてある場合はインストールされません)。

Control Panel: Control Panel はオーディオセッティング設定ツールで、NI オーディオインターフェイスドライバと共にインストールされます。殆どの設定は TRAKTOR ソフトウェアユーザーインターフェイスで行うことができるので、TRAKTOR を使用している際にこのコントロールパネルを開くことは殆どありません。

Control Panel の詳細に関しては、NI オーディオインターフェイスのマニュアルを参照してください。



TRAKTOR ソフトウェアはデフォルトロケーションにインストールすることを強く推奨します。インストール場所を変更するには、ロケーション(Location) 欄のフォルダアイコンをクリックします。

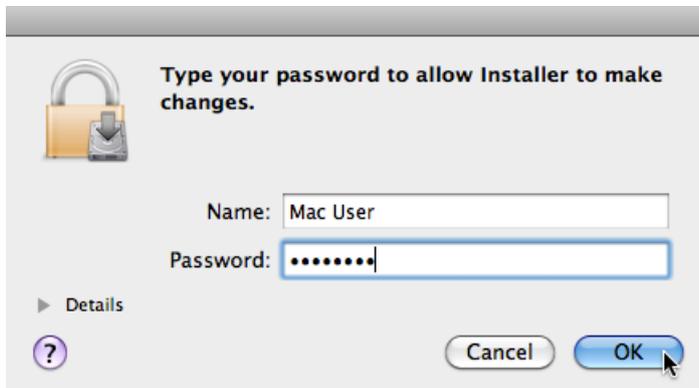
- ▶ インストール設定を行った後、Continue (続行、続ける) をクリックして表示される内容に従ってください。

5.1.3 パスワードの入力

選択したコンポーネントをインストールする前に、Mac OS X パスワード入力画面が表示されます。これは Mac OS X の認証機能で、インストールを進める為に必要な手続きです。



使用している Mac OS X ユーザーアカウントでの Administrator privileges (管理者権限)が必要です。

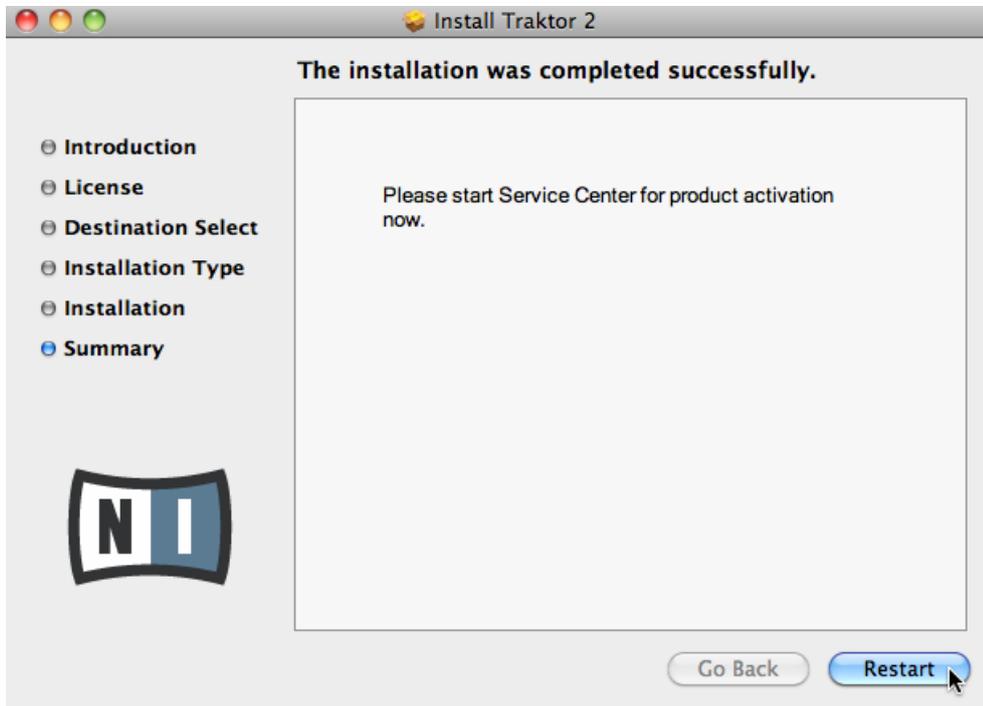


Mac OS X パスワード入力画面が表示されます。

- ▶ ここでパスワードを入力し、OK をクリックします。
- 選択したコンポーネントがインストールされます。

5.1.4 インストール作業の終了

各コンポーネントのインストールが終了したら、コンピュータを再起動します。



インストールプログラムの最終画面です。

- ▶ インストールプログラムの最後の画面で、Restart (再起動) をクリックしてコンピュータを再起動し、インストール作業を完了します。
- コンピュータが即座に再起動します。
- ▶ コンピュータの再起動後、このセットアップガイドの↑6, 製品のアクティベーションを読み、製品起動 (アクティベーション) について確認してください。

5.2 Windows へのインストール



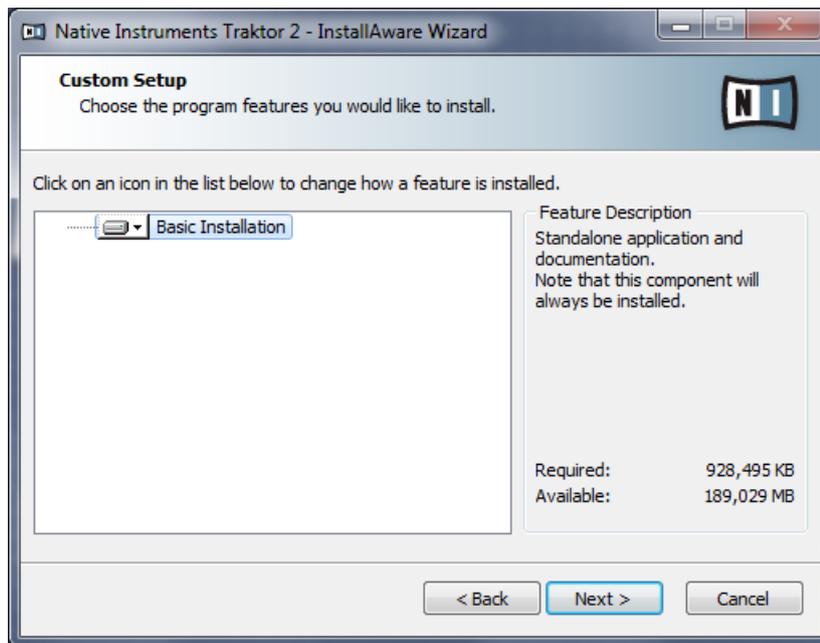
TRAKTOR ソフトウェアを Windows Vista または Windows 7 にインストールする場合は、この作業を始める前に Windows ユーザーアカウントコントロール (UAC) をオフの状態にする必要がある場合があります。本セットアップガイドの↑11.2, ユーザーアカウント管理とインターネットセキュリティー章を参照して UAC の解除を行ってください。更にインストール中はアンチウイルスソフトも無効の状態にしてください。

5.2.1 インストールプログラムを確認し、起動する

1. 使用しているコンピュータの CD/DVD-ROM ドライブに TRAKTOR ソフトウェア DVD を挿入してください。
2. DVD 内の Traktor 2.5.0 Setup PC.exe ファイルを探してください。
3. Traktor 2.5.0 Setup PC.exe ファイルをダブルクリックしてインストールを開始してください。
4. スクリーンで表示される手順に従ってください。

5.2.2 インストールする各フィーチャーの選択

ソフトウェアライセンス内容に同意した後、インストーラーウィンドウがインストール可能なフィーチャーを表示します。



インストールプログラムのコンポーネント選択画面です。

Basic Installation: TRAKTOR SCRATCH PRO 2 システム用 TRAKTOR ソフトウェアと関連資料をインストールします。このコンポーネントの選択解除はできません。

バックグラウンドコンポーネント

これらのフィーチャーはインストールウィンドウには表示されず、システムの設定内容によってインストールされます。

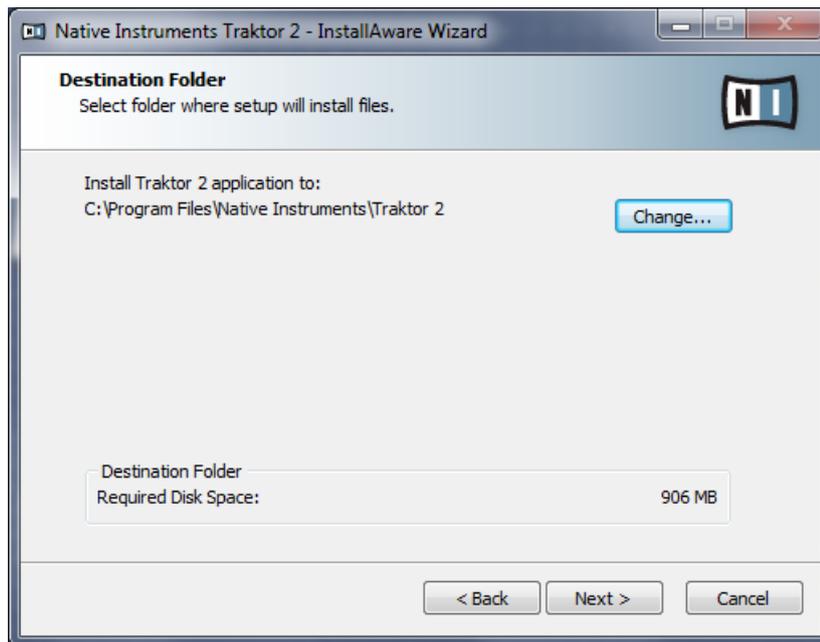
Controller Editor: コントロールエディター (Controller Editor) アプリケーションで Native Instruments 社製ハードウェアコントローラー (例、TRAKTOR KONTROL S4 または X1) を TRAKTOR ソフトウェア以外の用途で使用する MIDI コントローラーとして使用する為の設定を行います。このコンポーネントはコントローラードライバのひとつをインストールすることで自動的にインストールされます (最新バージョンの Controller Editor がすでに使用しているコンピュータにインストールしてある場合を除く)。

Service Center: サービスセンター (Service Center) アプリケーションは TRAKTOR PRO ソフトウェアの製品起動を行う際に必要です。選択しているドライバとは無関係にインストールされます (既に最新バージョンのアプリケーションがインストールしてある場合、インストールされません)。

Control Panel: Control Panel はオーディオセッティング設定ツールで、オーディオインターフェイスのドライバと共にインストールされます。殆どの設定は TRAKTOR ユーザーインターフェイスで行うことができるので、TRAKTOR を使用している際にこのコントロールパネルを開くことは殆どありません。Control Panel の詳細に関しては、オーディオインターフェイスのマニュアルを参照してください。

- ▶ Continue (続ける、続行) をクリックし、表示される画面の内容に従ってください。

5.2.3 アプリケーションインストールパスの確認



インストールプログラムのソフトウェアインストールパス画面です。



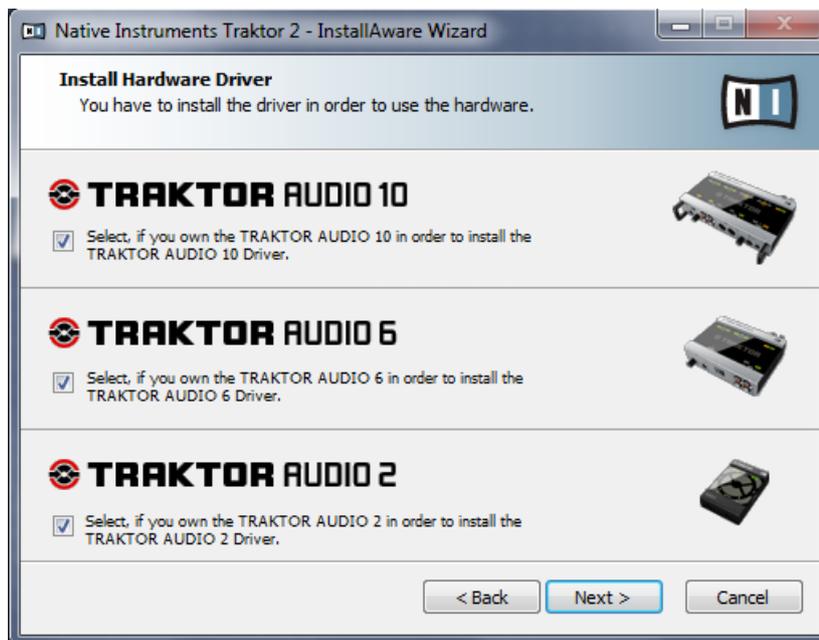
TRAKTOR ソフトウェアはデフォルトロケーションにインストールすることを強く推奨します。インストール場所を変更する場合は、**Change** (インストール先を変更) をクリックしてフォルダ選択ダイアログを表示し、インストール先を指定します。

インストール時に、TRAKTOR ソフトウェアをどこにインストールするか選択指定します。

- ▶ **Next** (次) をクリックして次に進みます。

5.2.4 ハードウェアドライバの選択

インストールプログラムで表示される画面でオーディオインターフェイスとコントローラーのハードウェアドライバを選択します。

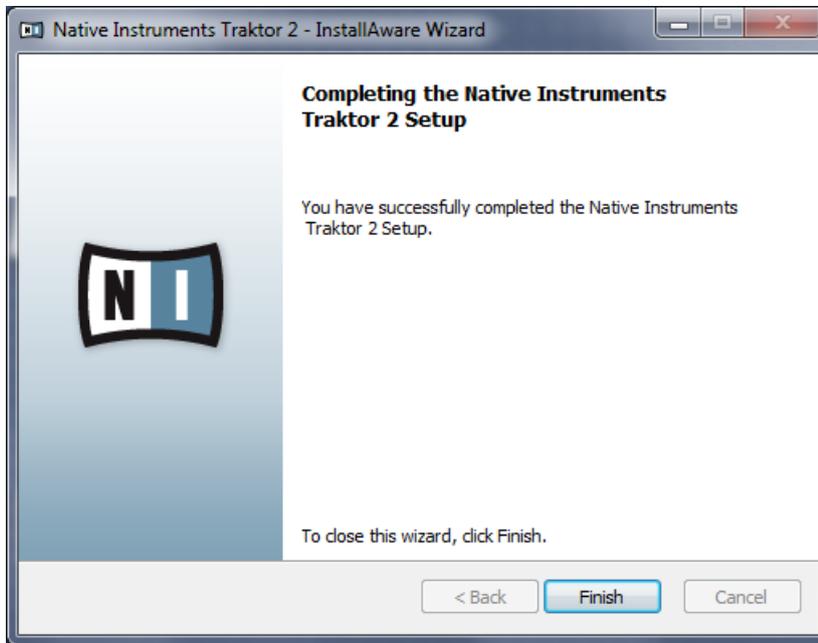


インストールプログラムのハードウェアドライバ選択画面です。

1. 次に表示される画面で、コンピュータで使用するハードウェアのチェックボックスにチェックを入れます。ハードウェアを全く使用しない場合は、このチェックボックスに手を加える必要はありません。
2. **Next** (次) をクリックして次に進みます。

5.2.5 ソフトウェアインストール作業の完了

ドライバを選択して選択内容の確認を終えると、インストールプログラムの最後の画面が表示されます。



インストールプログラムの最終画面です。

- ▶ インストールプログラムの最後の画面で、Finish (終了) をクリックしてインストールプログラムを終了します。
- ▶ 続けてこのセットアップガイドの↑6, 製品のアクティベーションを読み、製品起動 (アクティベーション) について確認してください。

6 製品のアクティベーション



このセクションでは全スクリーンショットで ("NI Product") 名称を便宜上使用します。各スクリーンの関係セクションでは起動する Native Instruments 社製品名で表示します。

6.1 オンライン製品起動



使用しているコンピュータをインターネットに接続していない場合は、[↑ 6.3, 製品のオフライン起動](#)に進んでください。

6.1.1 サービスセンターの起動

1. ハードディスク内でサービスセンターアプリケーションを見つけてください。インストールの際に、Native Instruments フォルダが Program Files (Windows) / Applications (Mac OS X) フォルダ内に作成されているはずですが、このフォルダ内に、Service Center という名称のサブフォルダがあるので、そこでサービスセンターアプリケーションを起動します。
2. サービスセンターアプリケーションをダブルクリックし、製品起動を開始します。



Native Instruments の全機能を使用するには製品起動が必要です。

6.1.2 ユーザーアカウントへのログイン

SERVICE CENTER 

Log in

Please log in using your e-mail address and password.

E-mail address

Password

Log me in automatically on next startup

▶ Forgot your password?

▶ Create new User Account

 Log in

Status:
Online

サービスセンターのログインスクリーンです。

- ▶ メールアドレスと Native Instruments パスワードを入力してログインします。
- ▶ Native Instruments アカウントを持っていない場合は、**Create new User Account** (新規ユーザーアカウント作成) をクリックします。アドレスフォームに記入してください。パスワードは電子メールで送信されます。

6.1.3 製品を起動する

Activate Update Overview Settings Support

Enter the serial numbers for the products you want to activate.

NI PRODUCT

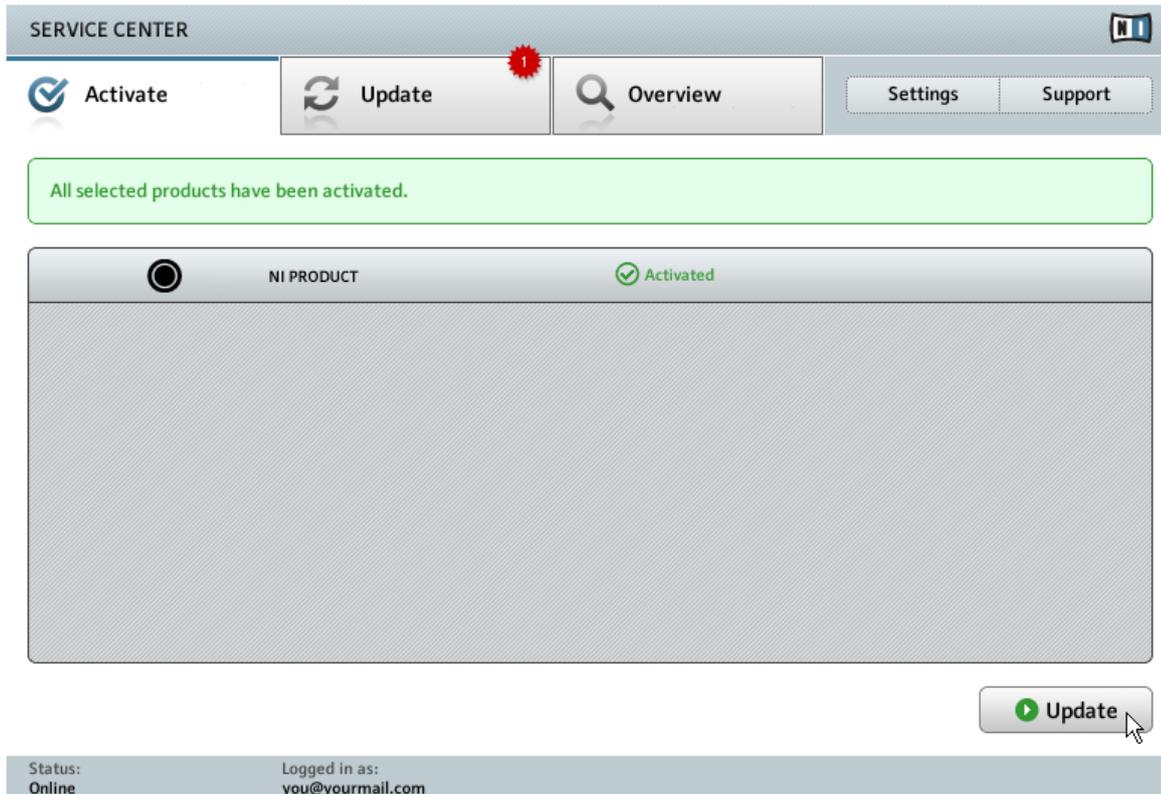
Activate

Status: Online Logged in as: you@yourmail.com

サービスセンターでの製品起動スクリーンです。

1. 番号入力欄にソフトウェアシリアルナンバーを入力してください。ソフトウェアシリアルナンバーは製品ボックス内の登録用紙に記載してあります。
2. アクティベート (Activate) をクリックします。

6.1.4 オンライン起動の終了



サービスセンターで製品起動を行います。

サービスセンターが製品の起動処理に成功しているか確認します。アップデート有無の確認作業が自動的に始まります。

- ・ 起動している製品のどれかにアップデートがある場合は、右下にアップデートボタンが表示されます。アップデートをダウンロードするにはアップデートボタンをクリックして [↑6.2, 製品のアップデート](#) 章に進んでください。
- ・ アップデートがない場合は、右下に Exit ボタンが表示されます。クリックしてサービスセンターを終了します。

6.2 製品のアップデート

6.2.1 アップデートの選択

Software Updates 1 file available ▼ Hide Details

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	NI PRODUCT Update i	2010-09-01, 179.09 MB

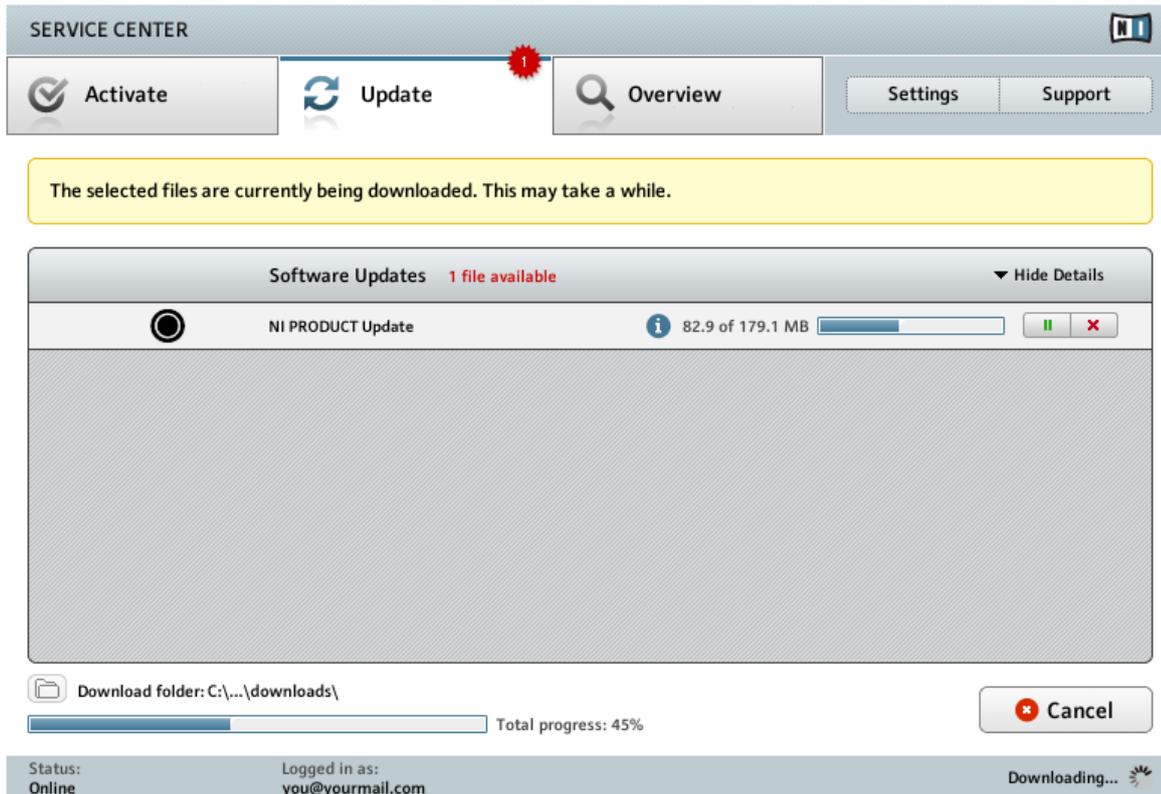
Download folder: C:\...\downloads\ Download

Status: Online Logged in as: you@yourmail.com

サービスセンターの製品アップデートスクリーンです。

1. Service Center を起動し、アップデート (Update) タブをクリックし、更新可能なアップデート情報を確認します。
2. 左側にあるチェックボックスでダウンロードするアップデートを選択します。自動チェックされているアップデート内容はダウンロードすることをお勧めします。
3. ダウンロードをクリックします。ダウンロードがスタートします。

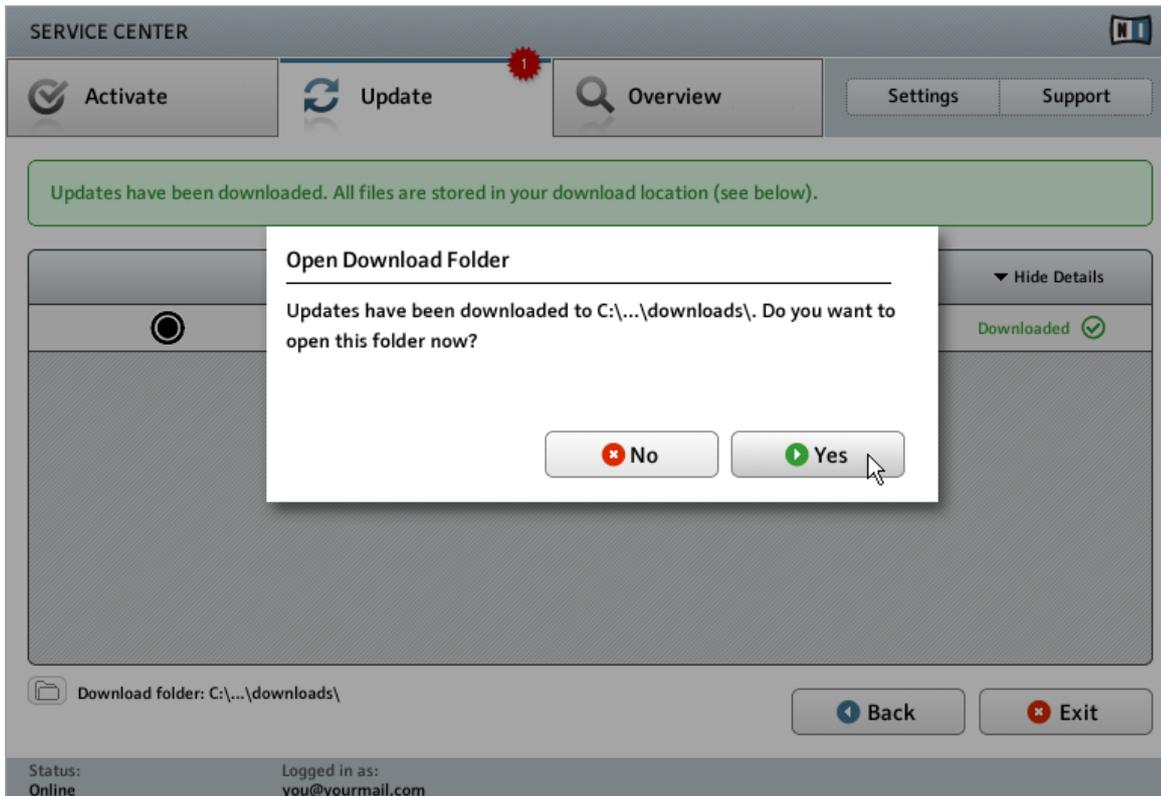
6.2.2 アップデートのダウンロード



製品アップデートを実行中です。

ファイルサイズとインターネットの処理速度によってダウンロードに時間がかかる場合があります。最新のアップデートを常時更新することを強くお勧めします。

6.2.3 ダウンロードフォルダーを開く



Service Center が全てのアップデートがダウンロードされたことを確認し、ダウンロードフォルダを開くよう促します。

全てのファイルのダウンロードが正常に完了すると、ダウンロードフォルダを展開する確認画面が表示されます。

- ▶ Yes (はい) をクリックしてダウンロードフォルダを開きます。
- ▶ ダウンロードフォルダを開いたら、Exit (終了) をクリックしてサービスセンターを終了してもよいでしょう。

6.2.4 アップデートのインストール

1. ダウンロードフォルダから最初のインストーラーを立ち上げます。

2. インストールウィザードの指示に従ってください。
 3. 全てのアップデートのインストールを同様の手順で行います。
- ▶ 引き続き、このセットアップガイドの [↑7, 設定の仕上げ](#) を読み、TRAKTOR SCRATCH PRO システムを使用するための最終設定について参照してください。

6.3 製品のオフライン起動

Native Instruments 製品を使用するコンピュータがインターネットに接続していない場合はオフライン起動による製品起動を行います。この場合、インターネットに接続してある 2 台目のコンピュータが必要です。

6.3.1 オフライン起動の開始

SERVICE CENTER 

Internet connection

Service Center was unable to establish an internet connection. How do you wish to proceed?

Try connecting to the internet again ▶ Retry

Make sure that your computer is connected to the internet.

Use a proxy server to connect to the internet ▶ Proxy

Host Port

Continue without connecting to the internet ▶ Offline

Please note: You will have to transfer an Activation Request File to a computer with internet access.

Status:
Pending...

サービスセンターのインターネット接続スクリーンです。

1. サービスセンターを起動します。インターネットコネクションが検出されない場合、上のインターネット接続画面に戻ります。
2. スクリーン下部のインターネット接続はしないで続けるでオフラインをクリックします。すると次のアクティベート (Activate) 画面に移動します。

6.3.2 起動リクエストファイルの作成

SERVICE CENTER

Activate Update Overview Settings Support

You have to complete three steps to do an Offline Activation.

- 1. Create Activation Request File**
Enter serial numbers and save the Activation Request File to a portable storage device, e. g. an USB stick. **Create**
- 2. Transfer File to Internet Computer**
Take the Activation Request File to a computer with internet access and open it on that computer. This will load the Native Instruments Registration web page.
- 3. Open Activation Return File**
Copy the Activation Return File returned by the Native Instruments web server to a portable storage device and open it on the computer that you want to activate the product on. **Open**

Status:
Offline

サービスセンターのオフライン製品起動スクリーンです。

- ▶ 起動スクリーン上で作成 (Create) をクリックします。起動 (アクティベート) スクリーンではシリアルナンバー入力画面が表示されます。

6.3.3 シリアルナンバーの入力

SERVICE CENTER

Activate Update Overview Settings Support

Enter the serial numbers for the products you want to activate.

NI PRODUCT 27742 47547 25189 42871 45194

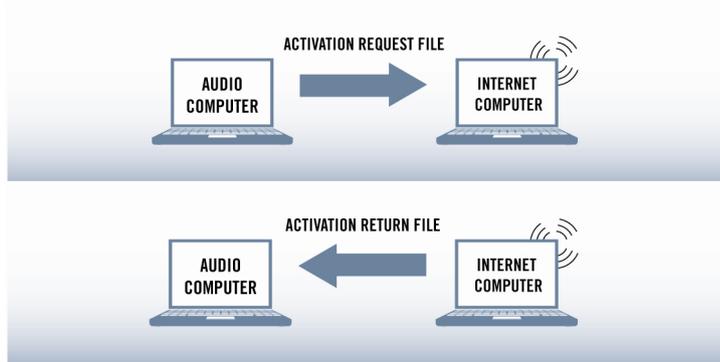
Back Create

Status:
Offline

サービスセンターでの製品起動スクリーンです。

1. 番号入力欄にソフトウェアシリアルナンバーを入力してください。ソフトウェアシリアルナンバーは製品ボックス内の登録用紙に記載してあります。
2. 作成するをクリックして起動リクエストファイル(ActivationRequestFile.html)を保存します。Save Fileダイアログが開き、そこでフォルダを指定します。
3. 起動リクエストファイルを指定したフォルダに保存します。

6.3.4 起動リクエストファイルを転送します。



オフライン起動を実行します。

1. 起動リクエストファイルを USB スティック等の簡易データ保管機器にコピーし、インターネット接続環境を備えたコンピュータへとデータ転送します。
2. 起動リクエストファイルをダブルクリック、展開します。
3. サービスセンター製品起動ウェブページでの手順に従ってください。新規 Native Instruments ユーザーである場合は、ログイン前に新規アカウントを作成する必要があります。
4. 起動リターンファイルを音楽製作に使用しているコンピュータに転送してください。

6.3.5 起動リターンファイルを展開します。

The screenshot shows the 'SERVICE CENTER' interface. At the top, there are navigation buttons: 'Activate' (with a checkmark icon), 'Update' (with a refresh icon), 'Overview' (with a magnifying glass icon), 'Settings', and 'Support'. Below this is a yellow notification box stating: 'You have to complete three steps to do an Offline Activation.' The main content area is divided into three numbered steps:

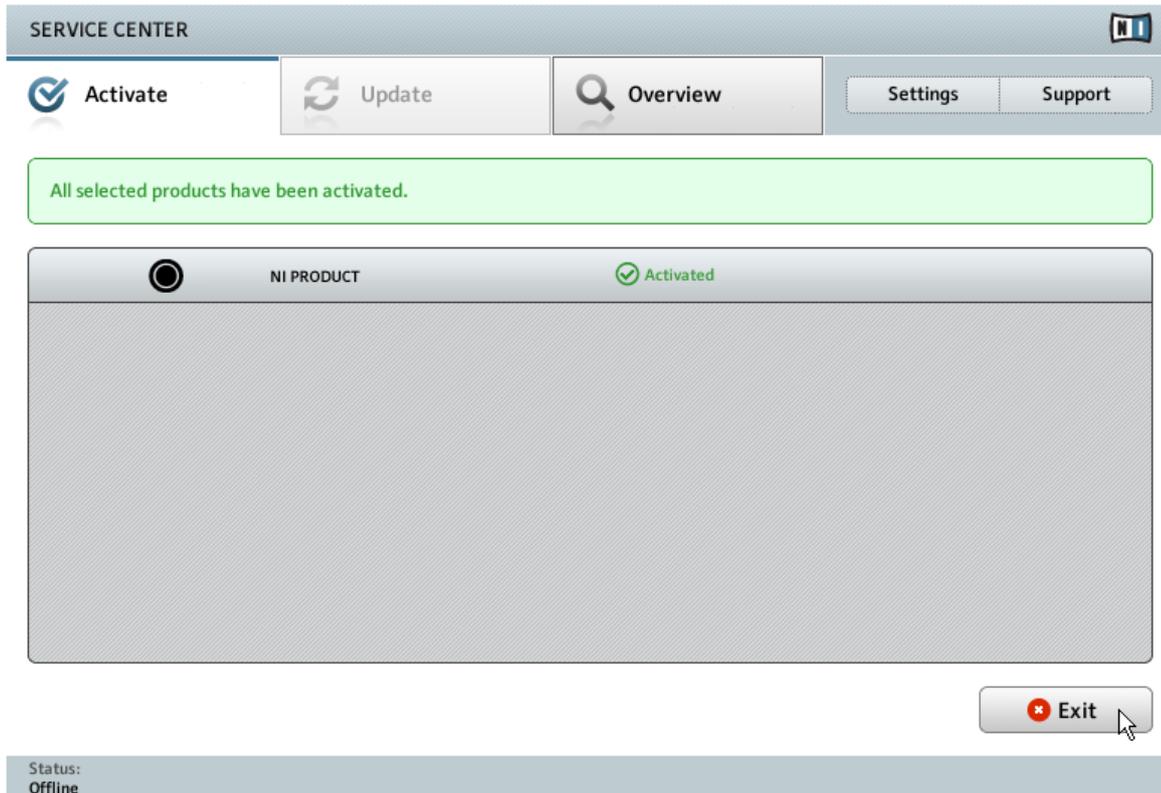
- 1. Create Activation Request File**
Enter serial numbers and save the Activation Request File to a portable storage device, e. g. an USB stick. A 'Create' button is visible.
- 2. Transfer File to Internet Computer**
Take the Activation Request File to a computer with internet access and open it on that computer. This will load the Native Instruments Registration web page.
- 3. Open Activation Return File**
Copy the Activation Return File returned by the Native Instruments web server to a portable storage device and open it on the computer that you want to activate the product on. An 'Open' button is visible.

At the bottom left, the status is indicated as 'Status: Offline'.

サービスセンターのオフライン製品起動スクリーンです。

1. 音楽製作に使用しているコンピュータで、サービスセンターを再度起動してください。スクリーン下部のインターネット接続はしないで続けるでオフラインをクリックします。
2. 起動タブを選択し、開く (Open) をクリックし、起動リターンファイル (Activation Return File) をロードします。

6.3.6 オフライン起動の終了



サービスセンターで製品起動を行います。

起動リターンファイルを開いた後、サービスセンターは製品の起動処理に成功しているか確認します。ここま
でを終えたら、Exit (終了) をクリックしてサービスセンターを終了してもよいでしょう。

- ▶ 製品のアップデートを取得するには <http://www.native-instruments.com/updates> で Native Instruments ユーザーアカウントにログインします。インターネットを接続してあるコンピュータから Personal Update Manager を用いて関連するアップデートを全てダウンロードし、簡易保存メディアを使用して音楽用コンピュータにインストールします。
- ▶ 引き続き、このセットアップガイドの [↑7, 設定の仕上げに](#) を読み、TRAKTOR SCRATCH PRO システムを使用するための最終設定について参照してください。

7 設定の仕上げに

TRAKTOR SCRATCH PRO システムを使用する為の準備の仕上げとして以下を行ってください。

7.1 コンピュータにハードウェアを接続する

- ▶ コンピュータに全ての機器と USB コントローラーを接続します。

7.2 コントロールヴァイナルを設置する、コントロール CD を挿入する

- ▶ TRAKTOR を操作する際にターンテーブルを使用する場合は、各ターンテーブルにコントロールヴァイナルを設置します。
- ▶ TRAKTOR SCRATCH DUO 2 を操作する際に CD プレイヤーを使用する場合は、各 CD プレイヤーにコントロール CD を挿入します。



TRAKTOR のデッキは最大 4 台までの同時操作が可能です。TRAKTOR SCRATCH PRO 2 SOFTWARE & Timecode Kit パッケージには 2 枚の Control Vinyls と 2 枚の Control CD を同封しています。4 台のターンテーブル、または 4 台の CD プレイヤーを使用する場合は、Native Instruments オンラインショップ <http://www.native-instruments.com/en/shop/> で更に Control Vinyls と Control CD を購入してください。

7.3 機器の電源を入れる

機器のスイッチを入れる際に生じるスピーカーからのノイズを押さえるには、全機器のボリュームを最小にします。機器のスイッチを入れる順番は以下です。

1. コンピュータ/インターフェイス
2. ターンテーブル/CD プレイヤー (左右両方)
3. DJ ミキサー / 認定ミキサー
4. TRAKTOR KONTROL S4
5. アンプシステム (アクティブスピーカー、またはパワーアンプとパッシブスピーカー)

その後ソフトウェアが起動している状態で TRAKTOR にトラックをロード、音楽を再生して徐々に音量を上げ、最適な状態に設定します。



ヘッドフォンを接続する際は常に、ヘッドフォンボリュームコントロールを最小にしてから行ってください。その後音声を再生して徐々に音量を上げて適切な音量にしてください。

7.4 TRAKTOR ソフトウェアの起動

インストールを正しく完了すると、アプリケーションと各資料が収納された TRAKTOR ソフトウェアフォルダがハードドライブ上に設置されます。デフォルト設定でインストールした場合、フォルダは以下の場所にあります。

Mac OS X

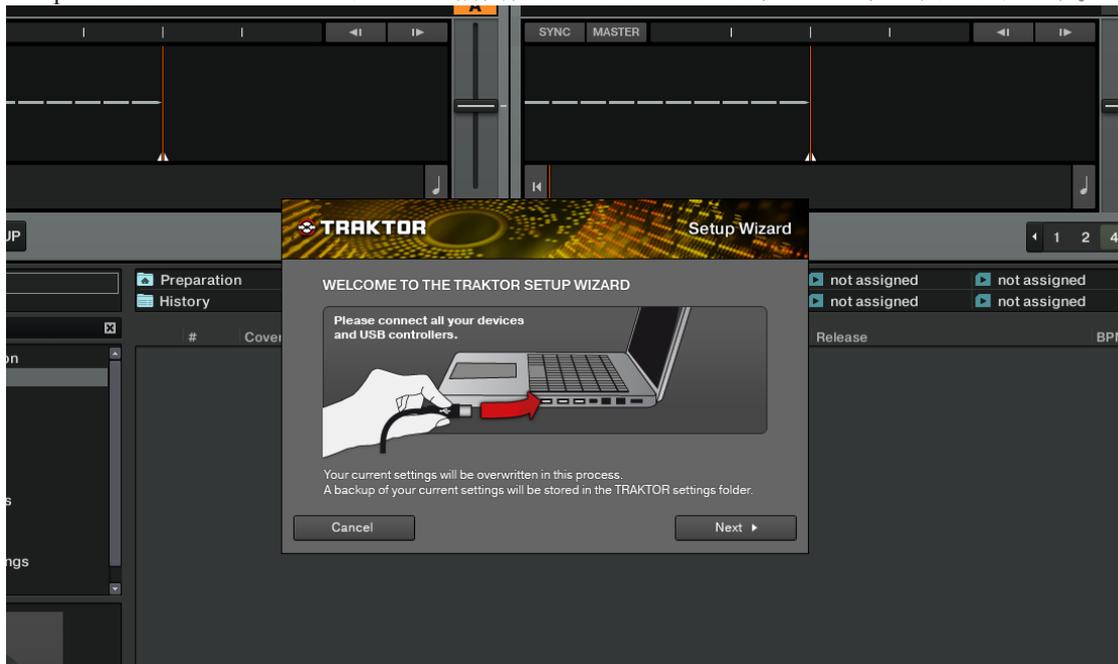
Macintosh HD/Applications/Native Instruments/Traktor 2/

Windows

C:\Program Files\Native Instruments\Traktor 2\

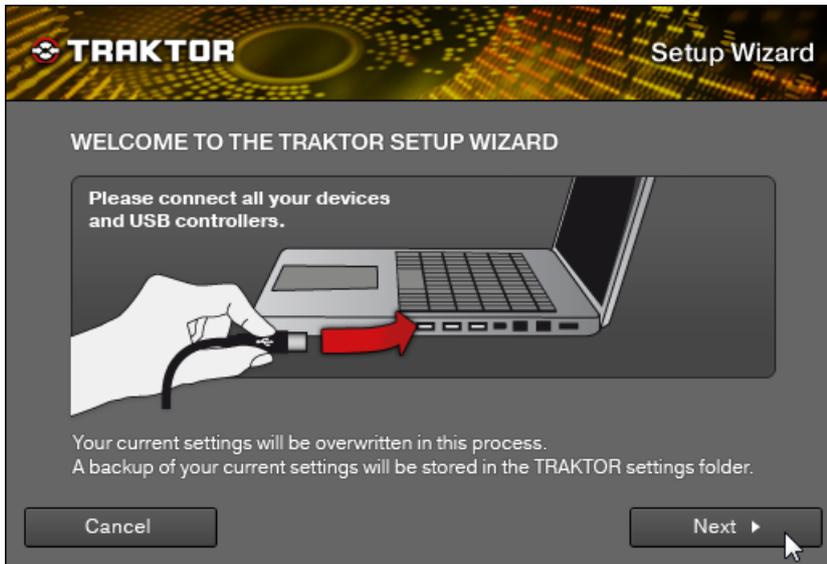
- ▶ TRAKTOR ソフトウェアを起動するには、インストールフォルダ内の Traktor 2 アプリケーションアイコンをダブルクリックするか、Windows では、インストールで (デスクトップ上などに) 設置されたショートカットを使って起動します。

→ Setup Wizard のスタートスクリーンを前面表示した TRAKTOR ウィンドウが表示されます。



7.5 セットアップウィザードを使用して TRAKTOR SCRATCH PRO システムを設定する

セットアップウィザードは TRAKTOR SCRATCH PRO システムを設定する為の手助けとなります。



TRAKTOR の Setup Wizard 画面です。

- ▶ 最初に表示されるウェルカムスクリーンで Next (次) をクリックして進みます。

7.5.1 ハードウェアの選択



TRAKTOR KONTROL S4 を使用している場合この画面は表示されません。 [↑7.5.2, デッキセットアップの選択に進んでください。](#)

ハードウェアコントローラーセットアップ (Hardware Controller Setup) スクリーンで TRAKTOR で使用するハードウェアコントローラーを選択します。オーディオインターフェイスを使用、トラックの操作にはターンテーブル、または CD プレイヤーを使用する場合、このメニューはデフォルト (No) にしておきます。ハードウェアコントローラー、または認定ミキサーで TRAKTOR を操作する場合、メニューを (Yes) にします。表示される画面で、ハードウェアのメーカーと製品モデルを指定します。

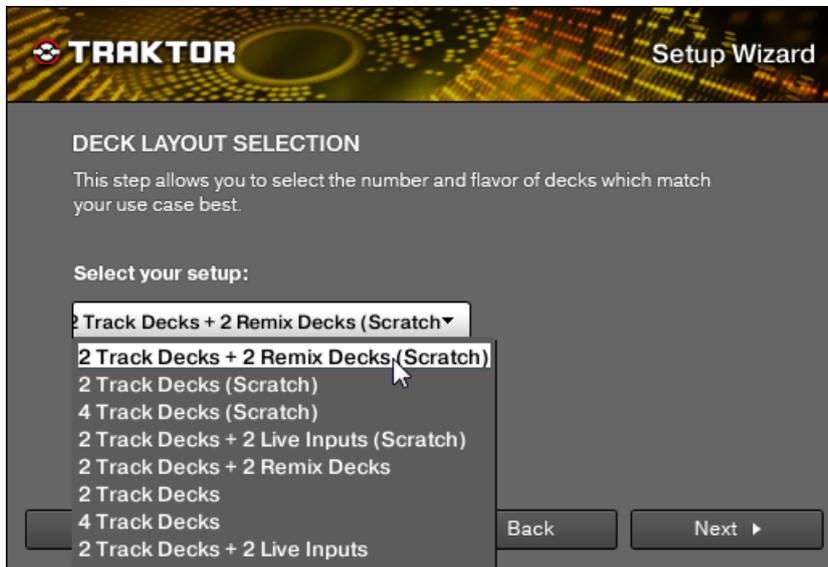


ハードウェアコントローラーセットアップスクリーンです。

- ▶ **Next (次)** をクリックして次に進みます。

7.5.2 デッキセットアップの選択

デッキセットアップセレクション (Deck Setup Selection) スクリーンで TRAKTOR で使用するデッキの種類を選択します。



デッキセットアップセレクション画面です。

1. ドロップダウンメニューで 2 Track Decks + 2 Remix Decks (Scratch) エントリーを選択、また TRAKTOR KONTROL S4 を使用している場合は 4 Track Decks (Scratch) エントリーを選択します。
2. Next (次) をクリックして次に進みます。

7.5.3 セットアップのチェック

セットアップウィザードの最後のスクリーンで保存される TRAKTOR セットアップ内容が表示されます。

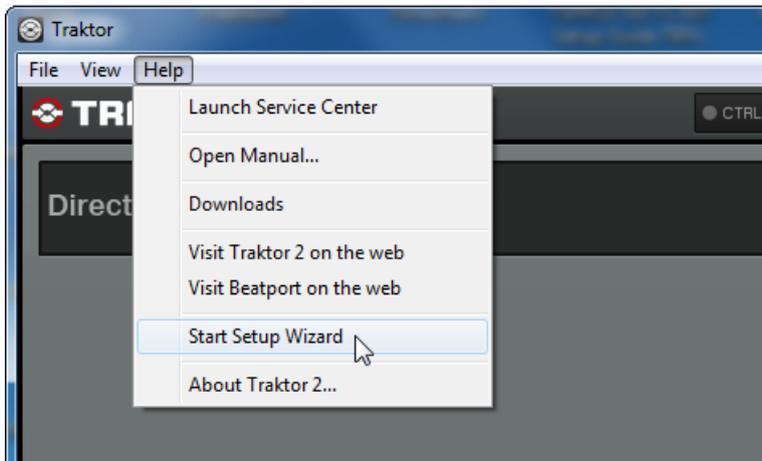


Setup Wizard の最後の画面です。

- ▶ **Finish (終了)** をクリックしてセットアップウィザードを終了、ここまでの設定内容を適用します。



TRAKTOR のヘルプメニューからこの Start Setup Wizard を再度起動し、内容を再設定することも可能です。



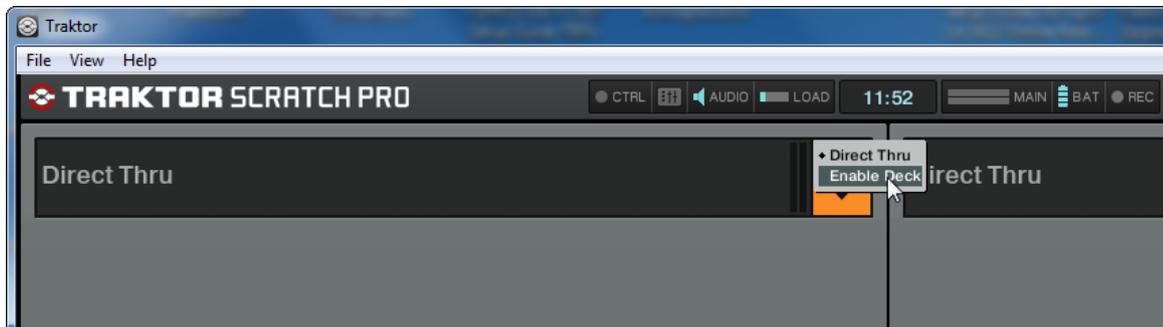
TRAKTOR の Help メニューから Setup Wizard を起動しています。

7.6 TRAKTOR のデッキを有効にする



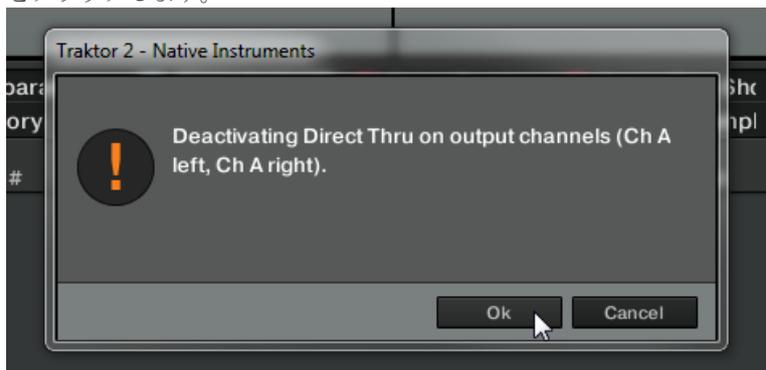
以下は TRAKTOR AUDIO 6、TRAKTOR AUDIO 10、TRAKTOR KONTROL S4 のための解説です。AUDIO 4 DJ または AUDIO 8 DJ を使用している場合 Direct Thru モード機能が無いので↑7.7, タイムコードコントロール用に TRAKTOR をキャリブレートするに進んでください。認定ミキサーを使用している場合 TRAKTOR のデッキの起動方法が異なる場合がありますのでミキサーの資料を参照してください。

初期段階でトラックデッキは Direct Thru モードに設定してあるので、TRAKTOR AUDIO 6 のオーディオインプットに到達した音声は TRAKTOR ソフトウェアを経由せずに各オーディオアウトプットに送信されます。TRAKTOR でトラックを再生するには、TRAKTOR のデッキを有効にする必要があります、これによって Direct Thru モードが無効となります。



ユーザーインターフェイスから Track Deck を有効にします。

1. 左上のデッキ (Deck) で、オレンジのステータスインジケーター (THRU と表示されている部分です) をクリックします。
2. ドロップダウンメニューで、Enable Deck を選択します。
3. TRAKTOR がオーディオチャンネル A の Direct Thru を無効にしようとしていることを知らせます。Ok をクリックします。



→ デッキがスクラッチコントロール (Scratch Control) が有効になった状態の Track Deck モードとして起動します。デッキのオレンジのステータスインジケータの表示が A となります。



▶ 右上のデッキでも上記の設定を繰り返し、デッキ B も有効にします。

→ デッキ A B 両方でスクラッチコントロール用トラックデッキ (Track Deck) ビューを表示します。



Deck Flavor は File > Preferences > Decks > Deck Flavor と進んで変更することも可能です。



TRAKTOR KONTROL S4 を使用している場合、ターンテーブルがデッキ C/D に接続してある場合でもデッキ A/B が Scratch Control 用となります。デッキ C/D を Scratch Decks にする場合は、C と D となっているステータスインジケータををクリックし、ドロップダウンメニューで Scratch Control を選択します。その後デッキ A/B のステータスインジケータのドロップダウンメニューで Internal Playback を選択し、Scratch Control を起動解除します。

- ここまでで、TRAKTOR AUDIO 6 のトップパネルの PHONO LED が点灯し、THRU が無効となるはずですが、これでコントロールヴァイナルを使用して TRAKTOR を使用できる状態となりました。



7.7 タイムコードコントロール用に TRAKTOR をキャリブレーションする

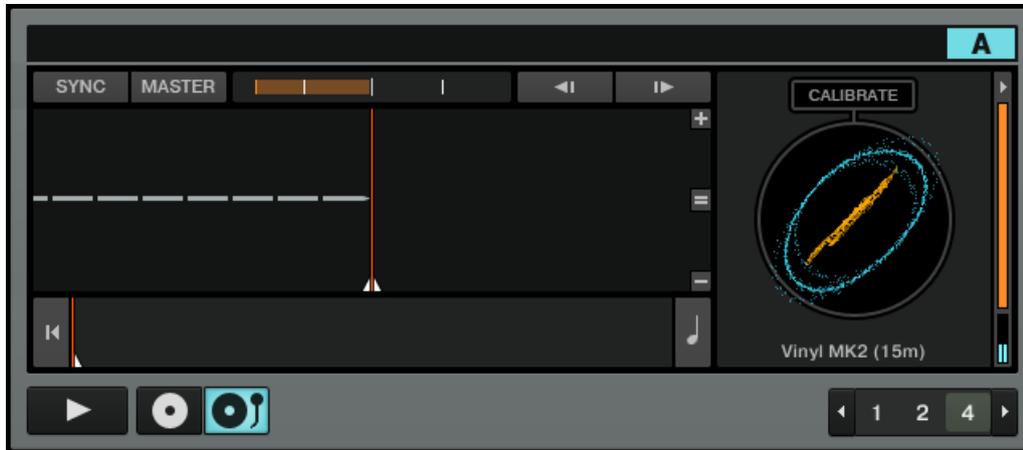
TRAKTOR は最初にコントロールヴァイナルに針を落とす、またはコントロール CD を再生することで、タイムコード用に自動的にシステムをキャリブレーション (調整) します。TRAKTOR はタイムコード発信元の位置とテンポ、音声のクオリティを分析します。



Scratch Deck のプレート、またはスコープを起動/起動解除するには File > Preferences > Decks Layout > Platter / Scope と進んで設定します。

- ▶ スコープパネルを表示するにはトラックデッキのデッキ盤をクリックします。

音声のクオリティが適切であれば、タイムコード発信媒体が検出されます。その後スコープ右のシグナルメーターがいっぱいとなり、スコープが 2 つの円を表示します。関係するデッキにトラックをロードすると、そこも起動します。キャリブレーションに成功したデッキは以下のように表示されます。



TRAKTOR のデッキ A のキャリブレーションが正しく完了しました。

ここまでで TRAKTOR SCRATCH PRO システムの設定とキャリブレーション調整が終わったので、ここからは TRAKTOR 2 Getting Started PDF を参照し、実際にこの DJ システムの操作方法を確認してください。この資料では一般的なトラブルの解決方法も解説しています。

8 初期 TRAKTOR SCRATCH PRO / DUO システムのアップグレード

この章では初期 TRAKTOR SCRATCH PRO / DUO システムから TRAKTOR SCRATCH PRO 2 にアップグレードする方法を解説します。初期 TRAKTOR SCRATCH PRO / DUO システム (マルチコアケーブルを含む) を使用していても TRAKTOR SCRATCH PRO 2 SOFTWARE & TIMECODE KIT を用いてアップグレードすることが可能です。

上記で紹介した各バージョンから上位バージョンにアップグレードする場合は、ユーザーデータとマッピングをインポートする必要があります。この作業は TRAKTOR ソフトウェアを使用して簡単に行うことができますが、アップグレードの際にいくつかの点に気を配る必要があります。詳細は以下のセクションを参照してください。

8.1 バックアップ

TRAKTOR SCRATCH PRO 2 を下位バージョンに上書きインストールする前に以下のフォルダとファイルをバックアップしてください。

- ・ TRAKTOR はデフォルトで [User]\My Documents\Native Instruments\Traktor (Windows) または User:Documents:Native Instruments:Traktor (Mac OS X) にあります。
- ・ 音楽フォルダは Preferences > Data Location > Music Folders に設置してあります。
- ・ 上記の場所以外にあるデータは保存時にその他の場所を保存先として指定したはずです。



この時に TRAKTOR フォルダにある必要ないデータを全て削除しておくといよいでしょう (例、使用しないコントローラー用マッピング等)。

8.2 ソフトウェアインストール

ソフトウェアのインストールはこの [Setup Guide](#) のはじめに解説した内容と同じです。↑5, [ソフトウェアインストール](#)に戻ってインストール方法を確認してください。その後 TRAKTOR を起動し、設定の最終段階に入ります。アップグレードを完了するために、次に解説するようにデータをインポートしてください。

8.3 データのインポート

- ・ TRAKTOR 2 を初回起動する際、セットアップウィザード (Setup Wizard) が現れ、セットアップに関する簡単な質問をします。これで TRAKTOR の見た目と各環境設定項目を設定します。セットアップウィザードに関しては TRAKTOR 2 マニュアルを参照してください。
- ・ 次に、TRAKTOR はユーザーフォルダの新規フォルダに既存のデータをインポートするか質問します。既存データは新規デフォルトフォルダにコピーしても内容が変わることはありません。

MIDI マッピング、ホットキーマッピングのインポート

TRAKTOR 2 ではマッピングシステムが以前とは異なります。以前の TRAKTOR バージョンで作成されたマッピングは、使用できるものと、正確にインポートできないものがあります。



ですから、ライブで使用する前にはインポートしたマッピングを必ず確認することを推奨します。

9 各資料

9.1 PDF マニュアル

PDF 形式の資料はハードドライブ上の TRAKTOR 2 ディレクトリ内に収納してあります。この資料にはアプリケーションの Help メニューからアクセスすることも可能です。

このガイドに加えて、TRAKTOR では以下の資料を用意しています。

- TRAKTOR 2 Getting Started では音楽コレクションのインポート方法、トラックのミックス方法、Remix Decks (リミックスデッキ) の使用方法を含む基本的な TRAKTOR 2 の各機能の使用方法を解説しています。ヴァイナルと CD による TRAKTOR SCRATCH PRO 2 のコントロール方法についても解説しています。TRAKTOR 2 Getting Started は TRAKTOR SCRATCH A10 システムを学ぶ為の次のステップとなります。
- TRAKTOR 2 Manual は TRAKTOR ソフトウェアの更なる詳細を提供する資料となっています。ここでは全ユーザーインターフェイス、オプション、ツール、アプリケーション内のサウンド生成モジュールに関して解説しています。参考資料として、またはアプリケーションの使用ガイドとしてお使いください。

9.2 ビデオ・チュートリアル

各チュートリアルビデオは以下の当社ウェブ url で閲覧することができます。 <http://www.native-instruments.com/traktorvideos>

ここでは TRAKTOR SCRATCH PRO システムの一般的な操作を学ぶことができます。TRAKTOR を使用しながらこれらを活用すると覚えやすいでしょう。

10 サポート

10.1 ナレッジベース / リードミー / オンラインサポート

- ▶ サービスセンター (Service Center) アプリケーションを起動して右上隅にあるサポート (Support) ボタンをクリックします。ここには Native Instruments オンラインナレッジベース (Online Knowledge Base) と オンラインサポートフォーム (Online Support Form) へのダイレクトリンクを用意しています。

オンラインナレッジベースでは Native Instruments 製品の有用な情報をまとめており、また Native Instruments 製品を使用する際に生じる問題の解決の糸口となるヒントを多数用意しています。

問題をナレッジベースで解決できない場合は、オンラインサポートフォーラムを使用して Native Instruments のテクニカルサポートチームに相談することも可能です。オンラインサポートフォームで使用しているハードウェア、ソフトウェアについてお答えください。ここでの情報は今後サポートチームが問題発生時に効率よく対応する為の資料となります。

Native Instruments サポートチームとコンタクトをとる際、ハードウェア、オペレーションシステム、使用しているソフトウェアのバージョン情報、問題の詳細をチームに伝えることが問題を解決する為に非常に有効となります。情報として提示すべき情報は以下となっています。

- ・ 問題に到達するまでの操作手順
- ・ 問題解決するために自分で試した解決策
- ・ ハードウェアを含む使用しているセットアップの内容
- ・ 使用しているコンピュータの機種を含む正確な情報



新規ソフトウェア、またはソフトウェアをインストールした場合、Readme ファイルに資料に含まれていない最新情報を書き添えてある場合があります。テクニカルサポートにコンタクトする前に Readme をお読みください。

10.2 フォーラム

Native Instruments ユーザーフォーラム (<http://www.native-instruments.com/forum>) では他のユーザーやフォーラムの中心人物となるフォーラムの専門家と製品について直接会話することが可能です。

10.3 アップデート

問題に直面した場合は、まずソフトウェアのアップデートを確認、ダウンロードし、インストールすることをお勧めします。アップデートは頻繁に起きる問題を解決、ソフトを向上させる為に定期的に行います。ソフトウェアのバージョン番号は Native Instruments 各アプリケーションの About ダイアログで表示可能です。このダイアログはユーザーインターフェイスの右上隅の NI ロゴをクリックしても開くことができます。更にインストールしてある全 Native Instruments アプリケーションのバージョン番号はサービスセンターの Overview タブでも確認することができます。アップデートはサービスセンターのアップデートタブ、または以下当社ウェブサイトから行うことも可能です。 <http://www.native-instruments.com/updates>.

11 トラブルシューティングと FAQ

このセクションには最も頻繁に質問される内容に関して表示しています。Native Instruments ウェブサイトのサポートセクションのナレッジベースに進んで検索フィールドで記事番号 (article number) を入力してください。

11.1 アップデートインストーラーがインストールフォルダを見つけない

ハードウェアで Native Instruments アプリケーションを手動で移動した場合、アップデートを行うインストーラーはエラーメッセージを表示してインストール作業を中断します。サービスセンターの Overview タブを確認してアプリケーションパスを修正してください。アプリケーションが見つからない場合は、Locate ボタンがこのタブに表示されます。このボタンをクリックしてアプリケーションが実際にある位置を認識させます。

11.2 ユーザーアカウント管理とインターネットセキュリティ

ユーザーアカウントコントロール(User Account Control, UAC) とインストールしてあるインターネットセキュリティまたはアンチウイルスソフトウェアはインストールに支障が出る可能性があるため、TRAKTOR ソフトウェアのインストール時には一時的に無効の状態にしてください。ファイルの安全性を確実にするには、インストールはコンピュータのネット接続を解除した状態で行ってください。

1. Windows 7 または Vista で UAC 設定オプション画面を開くには、タスクバーでスターとボタンをクリックし、検索バーに UAC と入力して [Enter] を押します。Windows Vista では UAC のチェックボックスを無効にし、Windows 7 では UAC スライダーを一番下に動かします。
2. インターネットセキュリティ、またはアンチウイルスソフトの資料を参照してこれらを一時的に無効にする方法を確認してください。
3. インストールを終えたら、UAC とインターネットセキュリティ/アンチウイルスソフトウェアを再び有効にしてください。

11.3 トラック再生中にクリックや、オーディオドロップアウトが生じる

トラックの再生中にクリックや、オーディオドロップアウトが生じる場合は TRAKTOR KONTROL S4 のレイテンシー設定を調整する必要があります。設定方法については機器のマニュアルで、オーディオインターフェイスの設定を行うコントロールパネルに関して解説しているセクションを参照してください。認定ミキサー使用時にクリックやオーディオドロップアウトが生じる場合は機器のマニュアルを参照し、レイテンシー設定について確認してください。

11.4 更なるトラブルシューティングの為の資料

ここまでで問題が解決しない場合は、TRAKTOR 2 マニュアルを参照し、このセットアップガイドではカバーしていない更なる詳細解説を参照してください。また、ナレッジベースも参考にしてください。 <http://www.native-instruments.com/knowledge/>